平成２８年度

ふるさと川南の教育

川南町教育委員会

川南町民憲章

わたしたちの町川南を、
豊かで明るく住みよい町にする
ために、この憲章を定めます。

一、融和と開拓精神にもえている町民で
あることに、誇りをもとう。

一、郷土発展のために、心魂をかたむけてきた
先輩に、感謝のまことをささげよう。

一、近隣愛にもえ、豊かなくらしをするための
物づくりに、力をあわせよう。

一、ひとりひとりの可能性を信じ、未来を
ひらく青少年育成のために、力をあわせよう。

一、自然を愛し、健康で明るい家庭と社会を
つくるために、力をあわせよう。

平成28年度　ふるさと川南の教育

～ふるさと川南を愛し　未来を拓く　心豊かでたくましい　川南の人づくり～

川南町教育委員会
Team Kawaminami

川南町教育基本方針

本町の教育は、教育基本法、県教育基本方針、県人権教育基本方針に示された人間尊重の精神を基調とし、さらに川南町第5次長期総合計画基本計画、川南町教育大綱（教育振興基本計画）を受け、平成28年度川南町教育基本方針を定め、学校教育及び社会教育を推進する。

Ⅰ　町民総ぐるみによる教育の推進

○　学校や家庭、地域及び企業、文化団体等が一体となって取り組む教育の推進
- Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業（子ども・学校支援活動、人財（材）バンク）の充実
- 学校支援コーディネーター配置と地域連携コーディネーターの役割明確化

○　家庭や地域の教育力の向上
- 「早寝・早起き、朝ご飯」、「家読、お手伝い」、「笑顔で　あいさつ・声かけ運動！」の推進

○　開かれた学校づくりの推進
- 学校関係者評価委員会の充実
- ホームページ、フェイスブックの活用
- オープンスクールの実施

Ⅲ　自立した社会人、職業人を育む教育の推進

○　ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進
- 開拓の歴史や川南のたから「自然・文化財等」を活用したふるさと学習の推進
- 川南の記念日等（リ・ボーンデイ、消毒の日）を利用した活動の充実

○　地域課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進
- 子ども会、公民館活動、ボランティア活動等への積極的参画の推進

○　キャリア教育の推進
- 地域人財（材）や企業等との連携によるキャリア教育の推進
- 職業講話、職場体験学習等の実施

Ⅱ　生きる基盤を育む教育の推進

○　就学前教育の充実
- 子育て支援ネットワークの支援

○　確かな学力を育む教育の推進　**知育**
- 学力向上や学習指導の充実
- 川南町ニューフロンティア教育研究会の充実
- 冊子「かわみなみの教育力」の活用と家庭学習の充実

○　豊かな心を育む教育の推進　**徳育**
- 道徳の時間の充実と地域への授業公開
- 生徒指導体制の整備、充実
- いじめをさせない、起こさせない、見逃さない学級や学校の風土づくり
- Team Kawaminami 未来を拓け！輝く子どもの活動フォーラムの開催

○　健やかな体を育む教育の推進　**体育**
- 立腰指導や体力向上プランの計画的実践
- 食育や安全教育の推進

○　共生社会を目指す特別支援教育の推進
- 就学相談、教育支援委員会の充実

○　人権が尊重される社会を目指す教育の推進
- 思いやりいっぱいの言葉遣い励行
- 人権教育に係る研修の充実

○　技術革新で国際化の進展に対応する教育の推進
- ICTの活用と外国語指導助手との交流促進

Ⅴ　生涯を通じて学び　挑戦できる社会づくりの推進

○　生涯学習の振興
- 広報紙の発行と人財（材）バンクの整備、充実
- 放課後の子どもたちの受け入れ体制の充実
- 各ライフステージ（子ども会、ジュニアリーダー、元気っ子サークル、高齢者教室、家庭教育学級、女性学級）における学習活動の充実
- 町PTA連絡協議会との連携
- 生涯学習大会の開催

○　スポーツの振興
- 総合型地域スポーツクラブの設立
- 町民スポーツ祭の開催

○　文化の振興
- 芸術文化の振興と団体の育成及び活動の推進
- 文化財保護と活用、全国草原サミット受入準備
- 町図書館、文化ホールの管理、運営の充実
- かわみなみ歌声あふれるまちづくり事業の充実

Ⅳ　魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実

○　教職員の資質向上
- 川南町教育研究所の研修充実
- 個人、同僚間、学校間職員のＯＪＴの推進

○　学校における安全、安心の確保
- 地域と連携した学校保健・学校安全計画（地震・津波等）の充実

○　学校の教育環境の整備、充実
- 教育環境（ICT機器）の整備、充実と研修の実施
- 学校教育改革検討委員会の設置

川南小 見守り隊

通山小 あいさつ日本一流

東小 百人一首大会

多賀小 かんかん踊り

山本小 朝のボランティア

唐瀬原中 あいさつ運動

国光原中 学習の様子

三大開拓地交流事業

目　　次

宮崎県教育基本方針・宮崎県人権教育基本方針・・・・・・・・・・・・・・　1
平成２８年度川南町教育委員会　実施目標・・・・・・・・・・・・・・・・　2
平成２８年度川南町一般会計予算と教育課関係予算の内訳・・・・・・・・　4
川南町教育基本方針・川南町人権教育基本方針・・・・・・・・・・・・・・　6
平成２８年度ふるさと川南の教育の推進にあたって・・・・・・・・・・・・　7
　１　目指す町民像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　２　基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　３　総合的かつ計画的に取り組む施策・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　４　平成２８年度重点事項について・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　５　具体的施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
　６　平成２８年度教育課事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
平成２８年度川南町立小・中学校の学級編制状況・・・・・・・・・・・・・２４
平成２９年度から平成３１年度までの児童・生徒数及び学級数増減見込み・２５
平成２８年度学校給食計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
川南町教育支援教室（フロンティアルーム）概要・・・・・・・・・・・・・２７
平成２８年度教育課施策（概要図）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
平成２８年度川南町小・中学校校長会組織表・・・・・・・・・・・・・・・２９
平成２８年度学校医・学校歯科医及び薬剤師 ・・・・・・・・・・・・・・３１
平成２８年度教育事務分掌表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
学校経営方針概要及び職員配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
　川南町立川南小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
　川南町立通山小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
　川南町立東小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
　川南町立多賀小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
　川南町立山本小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
　川南町立唐瀬原中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
　川南町立国光原中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
平成２８年度川南町立小・中学校研究主題 ・・・・・・・・・・・・・・・４９
平成２８年度川南町教育研究会の研究活動に関する基本計画書・・・・・・５０
学校紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３

【宮崎県教育基本方針】

本県の教育は、あらゆる教育の場を通じ、教育基本法にうたわれている人間尊重の精神を基調として、

「たくましいからだ　豊かな心　すぐれた知性」

をそなえ、郷土に対する誇りと柔軟な国際感覚にあふれ、新たな時代を切り拓いていく気概を持ち、心身ともに調和のとれた人間の育成をめざします。

【宮崎県人権教育基本方針】

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」と世界人権宣言はうたっています。すべての人はいかなる事由による差別も受けることなく、生命、自由及び身体の安全を確保し、それぞれの幸福を追求する権利を有しています。

本県においては、これまで宮崎県同和教育基本方針等に基づいて、真に差別をなくしていく意志と実践力とをもった人間の育成を目指し、日本国憲法に保障されている基本的人権にかかわる課題の解決に努めてきました。

しかし、今なお、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人などに関する様々な人権問題が存在しています。さらに、国際化、情報化、少子高齢化などの社会の急激な変化に伴い、新たな人権問題も発生しています。

そのため、宮崎県教育委員会では、これまでの取組の成果や課題、「宮崎県人権教育・啓発推進方針」の趣旨などを踏まえ、次のように人権教育を推進し、県民一人一人が人権について正しい理解を深め、人権を相互に尊重し合い、共に生きる社会の実現を目指します。

１　学校教育においては、幼児児童生徒の発達段階及び学校や地域の実情を踏まえ、幼稚園（保育所）、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等が相互に連携を図り、全教育活動を通して人権についての正しい知識を身に付け、人権を尊重する意識や態度を育成し、実践力を養うことに努めます。

２　社会教育においては、各種学級・講座等の機会において、基本的人権の尊重を基調とする学習を充実し、人権が一人一人の身近な問題であるとの認識を深め、日常生活において人権への配慮が態度や行動に現れるような人権感覚の高揚に努めます。

３　家庭教育に関しては、保護者に対する学習機会等を提供し、幼児期から豊かな情操や思いやり、生命を大切にする心、社会的ルールの尊重、善悪の判断など子どもの健全な人間形成の基礎を育むことができるような支援を行うとともに、大人も子どもも共に人権感覚が身に付くように努めます。

４　人権教育を積極的に推進するため、人権及び同和問題をはじめとする様々な人権問題に関する深い認識に基づいた、真に差別などのあらゆる人権侵害をなくしていく意志と実践力とをもった指導者の養成や研修の充実に努めます。

本方針の実施に当たっては、教育の中立性を確保するとともに、市町村教育委員会及び関係諸機関との連携を図りながら、広く県民の理解と協力を得て推進します。

川南町教育委員会

1　教育委員

教　　育　　長	木 村　　誠	平成２３年１２月２６日～
教育長職務代理者	内 野 宮　恵	平成２５年１０月　１日～
教　育　委　員	富山美津子	平成２４年１２月１９日～
教　育　委　員	小嶋久美子	平成２７年　３月２７日～
教　育　委　員	黒 木　　実	平成２７年　４月　１日～

平成２８年度　川南町教育委員会の実施目標

2　教育委員会の活動

項目			実施事項
大	中	小	
１ 教育委員会の活動	(1)教育委員会の会議の運営改善	教育委員会会議の開催回数	教育委員会会議を定期的及び随時開催し、教育に関する諸問題を協議することで一層の教育の推進に努める。
		教育委員会会議の運営上の工夫	教育委員による個別学校訪問の実施や町長部局、議会等との交流を図り教育の推進に努める。
	(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	教育委員会会議の傍聴	教育委員会会議開催について広報し、開かれた教育委員会に努める。
		議事録の公開、広報	教育委員会の活動についての広報を町ホームページ等を活用して発信する。
	(3)教育委員会と事務局との連携	教育委員会と事務局との連携強化	教育委員会会議開催時に現状報告及び意見交換を実施し、連携を図る。
	(4)教育委員会と町長部局との連携	教育委員会と町長との意見交換会の実施	教育委員会・町長部局間との意見交換会を実施し、状況等の情報共有に努める。
	(5)教育委員の自己研さん	研修会への参加状況	国・県及び児湯地方教育委員会連絡協議会主催の研修会等に積極的に参加するとともに、新学習指導要領に基づく実施状況や特別支援教育等の状況把握等のための研修を行う。
	(6)学校及び教育施設に対する支援、条件整備	学校訪問	定期的に学校訪問を行うとともに、教育委員を学校担当制とし、より密接な情報収集と課題等の改善に向けて助力する。
		所管施設の訪問	学校給食共同調理場を含む所管施設の訪問を実施し、課題等の改善支援に向けて助力する。

3　教育委員会が管理執行する事務

項　目		実　施　事　項
大	中	
2　教育委員会が管理執行する事務	(1)教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。	事務の管理及び執行の状況等について随時に報告を求める。
	(2)教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。	関係法令の改廃や住民ニーズとの整合性を確認の上、審議決定する。
	(3)教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(4)教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。	関係法令に基づき、協議決定する。
	(5)地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２７条の規定による点検及び評価に関すること。	自己評価及び評価委員による評価を実施した後、その結果を公表する。
	(6)歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申出に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(7)教育振興基本計画に関すること。	本計画の策定状況について随時報告を受け、教育委員の意見が十分に反映されるようにする。
	(8)教科用図書の採択に関すること。	教科用図書児湯採択地区採択協議会の会議により次回採用の教科用図書について協議を重ね、決定する。
	(9)通学区域に関すること。	川南町通学区域規則に基づき、状況に応じて審議決定する。
	(10)文化財の指定及び指定の解除に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(11)附属機関の委員の任免並びに委嘱及び解嘱に関すること。	関係法令、例規等に基づき、協議決定する。
	(12)県費負担市町村職員の任免その他進退に係る内申に関すること。	関係法令に基づき、協議決定する。
	(13)教育財産の取得及び処分のうち、重要なものに関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(14)教育委員会と職員団体との協定に関すること。	状況に応じ協議する。

平成２８年度川南町一般会計予算と教育課関係予算の内訳

１　川南町一般会計歳入歳出予算（当初）
総額　７,２２７,０００千円（前年度比　６.６４％増）

２　教育課関係予算（歳出）
総額　５８１,７７６千円（前年度比　１５.６４％増）
総額に占める割合　８.０５％

３　教育課関係予算の内訳（人件費含む。）　単位：千円、％

予算費目	予算額	構成比
２　総務費	**３６０**	**０．０６**
１　総務管理費	３６０	０．０６
11　諸費	３６０	０．０６
３　民生費	**２５,８２４**	**４．４４**
２　児童福祉費	２５,８２４	４．４４
５　児童館費	２５,８２４	４．４４
６　農林水産業費	**３,０４７**	**０．５２**
１　農業費	３,０４７	０．５２
８　農村公園管理費	３,０４７	０．５２
10　教育費	**５５２,５４５**	**９４．９８**
１　教育総務費	１１９,１２２	２０．４８
１　教育委員会費	２,７６０	０．４８
２　事務局費	１１６,３６２	２０．００
２　小学校費	９５,５９２	１６．４３
１　学校管理費	５８,７４８	１０．１０
２　教育振興費	３０,３９６	５．２２
３　保健体育費	６,４４８	１．１１
３　中学校費	５８,０２０	９．９７
１　学校管理費	２４,８４３	４．２７
２　教育振興費	２９,５１１	５．０７
３　保健体育費	３,６６６	０．６３
４　社会教育費	１５８,７７６	２７．２９
１　社会教育総務費	５３,６８６	９．２３
２　公民館費	２,１５８	０．３７
３　文化施設費	８２,５７６	１４．１９
４　文化財保護費	２０,３５６	３．５０
５　保健体育費	１２１,０３５	２０．８０
１　保健体育総務費	１０,１２１	１．７４
２　保健体育施設費	４１,４２７	７．１２
３　学校給食費	６９,４８７	１１．９４
合　計	**５８１,７７６**	**１００．００**

教育課関係予算の概要

予算費目			主な内容
総務費			
	総務管理費	諸費	日本三大開拓地交流事業のうち随行職員の旅費
民生費			
	児童福祉費	児童館費	放課後児童クラブに必要な費用
農林水産業費			
	農業費	農村公園管理費	農村公園の維持管理に必要な費用
教育費			
	教育総務費	教育委員会費	教育委員の報酬、旅費その他運営に必要な費用
		事務局費	ＡＬＴ報酬、教育支援教室指導員報酬及び職員の給与等並びに生涯学習センター施設の維持管理費を含む運営費用
	小学校費	学校管理費	学校事務補助賃金及び施設の維持管理費用
		教育振興費	教材等学校の教育振興に必要な費用
		保健体育費	学校医報酬等学校の保健体育に必要な費用
	中学校費	学校管理費	学校事務補助賃金及び施設の維持管理費用
		教育振興費	教材等学校の教育振興に必要な費用
		保健体育費	学校医報酬等学校の保健体育に必要な費用
	社会教育費	社会教育総務費	社会教育委員報酬、社会教育指導員報酬及び職員の給与等並びに生涯学習活動に必要な費用
		公民館費	公民館の維持管理に必要な費用（別館を除く。）
		文化施設費	文化ホール自主事業、図書購入費用及び文化ホール・図書館複合施設の指定管理に必要な費用
		文化財保護費	文化財保護審議会委員報酬、有形・無形文化財の保護保存及び維持管理に必要な費用
	保健体育費	保健体育総務費	スポーツ推進委員報酬及びスポーツ関係に必要な費用
		保健体育施設費	町営プール監視員賃金、運動公園等の維持管理に必要な費用
		学校給食管理費	学校給食の調理等業務委託費及び学校給食共同調理場施設の維持管理に必要な費用

本町の教育は、教育基本法、県教育基本方針、県人権教育基本方針に示された人間尊重の精神を基調とし、さらに川南町第５次長期総合計画、川南町教育大綱（川南町教育振興基本計画）を受け、平成２８年度川南町教育基本方針を定め、学校教育及び社会教育を次のように進めていくものとする。

川南町教育基本方針

ふるさと川南を愛し　未来を拓く　心豊かでたくましい　川南の人づくり

川南町の教育は、ふるさと川南を愛し、先人から伝わる融和と開拓精神をもち、「人との絆」を大切にしながら、人としての在り方生き方の基となる豊かな情操や寛容の心、道徳心や公共の精神といった「心の豊かさ」とともに、自らの資質や能力を磨き、夢や目標をもって、その実現に向けて挑戦し続ける「しなやかさ」や「たくましさ」をもった人材の育成と生涯にわたって学び続け「自然と調和した、輝くまち新生かわみなみ」を創造し、飛躍・発展させることができる教育環境づくりを推進する。

川南町人権教育基本方針

川南町教育委員会は、一人一人が人権について正しい理解を深め、人権を相互に尊重し、共に生きる社会の実現と基本的人権に係る問題の解決においては、教育の果たす役割が極めて重要であるとの認識に立って人権尊重の教育に当たる。

学校教育及び社会教育においては、日本国憲法、教育基本法の精神、県人権教育基本方針に基づいて人権教育を推進する。人権問題は、多くの人々の努力によって解決に向けて進展している。しかし、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人などに関する様々な問題が存在している。さらに国際化、少子高齢化、情報化などの社会の急激な変化に伴う新たな問題も発生している。そのため、次のように人権教育を推進していく。

１　学校教育においては、児童生徒の発達段階及び学校や地域の実情を踏まえ、小・中学校が相互に連携を図り、全教育活動を通じて人権についての正しい知識を身に付け、人権を尊重する意識や態度を育成し、思いやりのある社会を築こうとする実践力を養うことに努める。

２　社会教育においては、各種学級、講座等の機会において基本的人権の尊重を基調とする学習を充実し、人権が一人一人の身近な問題であるとの認識を深め、日常生活において人権への配慮が態度や行動に表れるような人権感覚の高揚に努める。また、家庭教育に関しては、保護者に対する学習機会等を提供し、幼児期から豊かな情操や思いやり、生命を大切にする心、社会的ルールの尊重、善悪の判断等子どもの健全な人間形成の基礎を育むことができるような支援を行い人権感覚が身につくように努める。

３　人権教育を積極的に推進するために、人権及び同和問題をはじめとするさまざまな人権問題に関する深い認識に基づいた、真に差別などあらゆる人権侵害をなくしていく強い意志と実践力をもった指導者の養成や研修に努める。

【平成２８年度ふるさと川南の教育の推進にあたって】

１　目指す町民像

「川南町教育基本方針」として、「ふるさと川南を愛し　未来を拓く　心豊かでたくましい　川南の人づくり」をスローガンに掲げ、その具現化を図るために、子どもたちはもとより、町民全てを対象として施策を展開します。

そこで、具体的な町民の姿を、「目指す町民像」として設定しています。

《目指す町民像》

○　夢や希望を抱き、生涯にわたって自己実現を目指す人

○　ふるさと川南を愛し、地域や社会の発展に主体的に参画する人

○　グローバルな視野をもって活動する人

この「目指す町民像」の実現に向けて、次に示す施策に総合的かつ計画的に取り組んでいきます。

２　基本的な考え方

総合的かつ計画的に取り組む施策は、全般にわたって、次のように「横の連携」と「縦の接続」を重視して推進します。

（１）「横の連携」（学校、家庭、地域の企業・文化団体等の多様な主体の役割分担を踏まえた連携、協働）

生涯にわたって様々な学びや活動に取り組んできた地域の人や企業等で活躍する人は、かけがえのない貴重な教育資源です。社会全体で総合的に教育に取り組むためには、町民一人一人がこれまで身につけた知識や経験、技術などを学校や家庭、地域における様々な活動の中で生かすことが必要です。

そのため、これまで推進してきた学校や家庭、地域が連携した取組を基盤として、さらに地域の企業やＮＰＯ法人、文化団体等の多様な主体が一体となった取組を、これまで以上に進めるなど、人と人との「絆」、地域における様々な「絆」を深め、社会全体の教育力を強化するための「横の連携」を重視して取組を推進します。

（２）「縦の接続」（生涯学習社会の実現に向けた、人生の各段階における活動の場の接続）

これからの新しい知識や情報、技術があらゆる領域で活動の基盤となる知識基盤社会の進展の中で、町民一人一人が必要とする知識、技術を習得し、生涯にわたって自己実現を目指すとともに、地域社会の中で身につけた知識や技術などを生かし活躍するなど、学びが循環する社会づくりを積極的に進め、「生涯学習社会」の一層の実現を図る必要があります。

そのため、保育所等、小学校、中学校の一貫教育の推進や学校教育と社会とのつながりを一層深めることが必要です。また、町民の誰もが生涯を通じて学習活動やスポーツ、文化活動等に取り組んだり、地域社会の一員として活動したりしながら自らを磨き高めていく環境づくりを進めるとともに、その学習成果を地域づくりや子どもたちの教育に積極的に還元できる機会を充実するなど、青少年期、成人期、高齢期等の人生の各段階における活動の場をつなぐ「縦の接続」を重視して取組を推進します。

3　総合的かつ計画的に取り組む施策

※　施策目標Ⅰ～Ⅴの設定は、川南町教育大綱による

施策目標Ⅰ　町民総ぐるみによる教育の推進

人口減少、少子高齢化など社会が大きく変化する中で、川南町を支える人づくりにあたっては、町民一人一人が、家庭や地域社会の一員としての意識を高め、それぞれの役割をしっかり果たすなど、地域社会全体の教育力の向上を図ることが必要なことから、次のような取組を進めます。

1　学校や家庭、地域及び企業、文化団体等が一体となって取り組む教育の推進
2　家庭や地域の教育力の向上
3　開かれた学校づくりの推進

施策目標Ⅱ　生きる基盤を育む教育の推進

これからの学校教育においては、「知・徳・体」の調和を図りながら、子どもたちに生きる力を一層身に付けさせるとともに、共生社会の実現を目指す特別支援教育や人権を相互に尊重し、共に生きる社会づくりを目指す人権教育を推進することなどが、これまで以上に必要となっていることから、次のような取組を進めます。

1　就学前教育の充実
2　確かな学力を育む教育の推進
3　豊かな心を育む教育の推進
4　健やかな体を育む教育の推進
5　共生社会を目指す特別支援教育の推進
6　人権が尊重される社会を目指す教育の推進
7　技術革新や国際化の進展に対応する教育の推進

施策目標Ⅲ　自立した社会人、職業人を育む教育の推進

これからの社会を生きる子どもたちには、自立した一人の人間として力強くたくましく生き抜く力を育むとともに、ふるさと川南を愛し川南を支え、その発展に貢献する気概に満ち、地域社会をよりよくしていく活動に積極的に取り組もうとする意識や態度などの育成が重要なことから、次のような取組を進めます。

1　ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進
2　地域課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進
3　キャリア教育の推進

施策目標Ⅳ　魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実

　町民一人一人が、子どもたちを「地元の学校に入学させたい」「地元の学校に出してよかった」と思われる魅力ある学校づくりに取り組みます。

　また、次代を担う子どもたちの健やかな成長を図るためには、様々な子どもの学びや育ちを支える教育環境の整備、充実を一層推進する必要があることから、次のような取組を進めます。

1　教職員の資質向上
2　学校における安全、安心の確保
3　学校の教育環境の整備、充実

施策目標Ⅴ　生涯を通じて学び挑戦できる社会づくりの推進

　川南町が今後とも輝き続け活力を維持し発展していくためには、町民一人一人が夢や希望を抱き、生涯にわたって学びを深めたり学び直しをしたり、新たな学びに取り組んだりしながら自らを磨き高めることやスポーツや文化活動に取り組んだり挑戦したりするなど、様々な取組の中で自己実現を目指すとともに、身に付けた知識や経験、技術等を社会に還元するなど、学びが循環する社会づくりが必要なことから、次のような取組を進めます。

1　生涯学習の振興
2　スポーツの振興
3　文化の振興

4　平成２８年度重点事項について

　平成３３年３月までの川南町の教育の方向性を示した川南町教育大綱（川南町教育振興基本計画）の確実な推進のためには、学校教育関係者、社会教育関係者をはじめ、町民が一体となった各立場での推進が必要です。

　また、平成２７年７月に実施の「ふるさと川南の教育に関する調査」においては、児童生徒の生活習慣等に関する質問に対して、平成２５年７月調査と比較し、肯定的な回答の割合が概ね良好であり、特に、「ふるさと川南が『好き』である」が小学生では、９１％から９６％に増加しています。今後の課題としては、「自分には良いところがある」、「将来の夢や目標をもって、仕事や生き方について考えている」の質問に対して、肯定的な回答が、以前と同じか下回っている結果が出ており、「児童生徒の自己肯定感の育成」や「キャリア教育の充実」が挙げられます。

そこで、平成２８年度は、特に以下の施策に重点を置いて推進します。

施策目標Ⅰ　町民総ぐるみによる教育の推進

これまでの学校教育や社会教育の取組を継承しつつも、これからの時代にあった新しい教育環境づくりに向けた取組を期待します。

○　地域ぐるみの教育の普及・発展のための「Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業（学校支援地域本部事業）」の推進（川南小学校の取組を全学校へ普及推進）

○　学校支援コーディネーターの継続配置と地域連携コーディネーターの役割の明確化

施策目標Ⅱ　生きる基盤を育む教育の推進

知育・徳育・体育のバランスのとれた教育推進を前提に、川南町ニューフロンティア教育研究会と連携し、本町の教育的課題の解決に向けて取り組むことを期待します。

○　大きな教育的課題である学力向上のための学習指導の充実と学習習慣の定着、冊子「かわみなみの教育力」の積極的な活用

○　あいさつ運動の推進や交通安全指導の徹底と各学校のいじめ防止基本方針をもとにした積極的な生徒指導の充実

○　食育（心身の健康と食の役割啓発及び地産地消、弁当の日）の推進

※　県・町指定「平成２８年度みやざきスーパー食育スクール事業」の充実

施策目標Ⅲ　自立した社会人、職業人を育む教育の推進

ふるさと川南を愛し川南を支える子どもたちを育むために、ふるさと学習の充実を期待します。

○　社会的・職業的自立に向けた小学校から中学校まで系統立てたキャリア教育の推進と地域人財（材）の活用

施策目標Ⅳ　魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実

地域の教育力の要として教育委員会が示した「教師へのメッセージ」を意識し、「児童生徒とともに学び続ける教師」として常に向上心をもって取り組むことを期待します。

○　教職員の専門性を高めるための校内研修を中心としたＯＪＴの推進、教育研究所研究員と連携した学校支援

○　教育環境（ＩＣＴ機器）の整備、充実と研修の実施

施策目標Ⅴ　生涯を通じて学び挑戦できる社会づくりの推進

社会教育においては、各ライフステージとリンクさせた子どもを中核とした施策運営を行うことを期待します。

○　放課後の子どもたちに関する社会教育施策と福祉施策を一体化した放課後児童クラブの充実とそれらをサポートする社会教育の支援体制づくり

○　総合型地域スポーツクラブを発足させ、町民誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり

○　自治公民館制度に移行して最初の町民スポーツ祭の企画・運営の充実

○　文化財の保護と活用、全国草原サミットの受入体制準備

○　スポーツ施設の指定管理者導入準備

5　具体的施策

◎は、平成２８年度重点事項

施策目標	活　動　施　策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
Ⅰ　町民総ぐるみによる教育の推進	1　学校や家庭、地域及び企業、文化団体等が一体となって取り組む教育の推進	○　教育に関する町民意識の醸成（啓発活動） **◎　Ｔｅａｍ　Ｋａｗａｍｉｎａｍｉ学びのネットワークづくり事業（子ども、学校支援活動、人材バンク）の充実** **◎　学校支援コーディネーターの継続配置と地域連携コーディネーターの役割の明確化** ○　放課後子どもプラン運営委員会の設置及び運営	生涯学習 生涯学習 生涯学習
	2　家庭や地域の教育力の向上	○　「早寝・早起き・朝ご飯」、「家読、お手伝い」、「ありがとう、心でつなぐあいさつ」運動の推進	生涯学習
	3　開かれた学校づくりの推進	○　学校関係者評価委員会の充実 ○　学校からの情報発信（ホームページ、フェイスブックの活用、オープンスクールの実施）の充実	学校教育 学校教育

施策目標	活　動　施　策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
Ⅱ　生きる基盤を育む教育の推進	1　就学前教育の充実	○　子育て支援ネットワークの支援に関する情報の共有	生涯学習
	2　確かな学力を育む教育の推進	○　ＣＲＴテスト等の分析結果を生かした学習指導の改善 ○　学習指導の改善・充実のための学校訪問の充実 ○　児童生徒の言語活動の充実（言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境の整備） **◎　キャリア教育の視点からの学習指導の改善・充実** ○　生徒指導の機能（特に、自己存在感を与える、共感的な人間関係を育てる、自己決定の場を設ける）を生かした学習指導の改善・充実 **◎　冊子「かわみなみの教育力」の積極的な活用と家庭と連携した家庭学習の充実（「家庭学習のすすめ」の活用）** ○　学習成果としての作文や絵画等の新聞等への投稿促進 **◎　川南町ニューフロンティア教育研究会の充実（小中一貫、学校間連携の推進）**	学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育

	3　豊かな心を育む教育の推進	○　奉仕活動やボランティア活動等、体験活動を生かした道徳教育の推進 ○　道徳の授業の充実と地域への授業公開 ○　生徒指導体制及び教育相談体制の整備・充実（いじめ防止への対応） ○　不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実（フロンティアルームの充実） **◎　いじめをさせない、起こさせない、見逃さない学級や学校の風土づくり** ○　Ｔｅａｍ　Ｋａｗａｍｉｎａｍｉ未来を拓け！輝く子どもの活動フォーラムの開催	学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育
	4　健やかな体を育む教育の推進	○　立腰指導や体力向上プランの計画的実践 ○　保健体育科学習指導の充実 ○　走って自分の路を刻む「走り足し算」での持久力の向上 ○　児童生徒の自由時間を活用した体力の向上 **◎　食育（心身の健康と食の役割啓発及び地産地消、弁当の日）の推進** ○　安全、安心な学校給食実施と衛生管理の徹底 ○　飲酒や喫煙その他薬物乱用防止教育、性教育の推進 **◎　安全教育の推進（児童生徒の登下校時の緊急避難等安全指導等）**	学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校給食 学校給食 学校教育 学校教育
	5　共生社会を目指す特別支援教育の推進	○　就学相談の実施 ○　教育支援委員会の開催 ○　特別な支援を要する児童生徒の指導に関する実践的研修の実施	学校教育 学校教育 学校教育
	6　人権が尊重される社会を目指す教育の推進	○　思いやりいっぱいの言葉遣い励行 ○　人権教育に係る研修の充実	学校教育 学校教育
	7　技術革新や国際化の進展に対応する教育の推進	○　ＩＣＴの整備 ○　外国語指導助手の配置と効果的な活用促進	学校教育 学校教育

施策目標	活　動　施　策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
Ⅲ　自立した社会人、職業人を育む教育の推進	1　ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進	○　開拓の歴史や川南のたから「自然・文化財等」を活用した活動の推進 ○　川南の記念日等（リ・ボーンデイ、県民一斉「消毒の日」等）を利用した活動啓発 ○　学校の行事や総合的な学習の時間等を活用した町歌斉唱や郷土芸能の伝承活動の推進 ○　三大開拓地交流事業の推進	文化スポーツ 学校教育 生涯学習 文化スポーツ 生涯学習 学校教育
	2　地域課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進	○　子ども会、公民館活動、ボランティア活動等への積極的参画の推進	生涯学習
	3　キャリア教育の推進	**◎　地域人財（材）や企業等との連携によるキャリア教育の推進** ○　職業講話、職場体験学習、子ども参観日等の実施	学校教育 生涯学習 学校教育

施策目標	活　動　施　策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
Ⅳ　魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実	1　教職員の資質向上	**◎　専門性を高め、使命感に徹し、地域の子どもとともに生きる教職員の育成** ○　教職員研修の充実 **◎　川南町教育研究所の研修充実** ○　町教育研究論文への積極的な応募 ○　個人、同僚間、学校間の職員交流促進 ○　町主催行事への主体的な参加を含む体験活動の推進	学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育
	2　学校における安全、安心の確保	○　地域と連携した学校保健・学校安全計画（地震・津波等）の充実	学校教育
	3　学校の教育環境の整備、充実	**◎　教育環境（ＩＣＴ機器）の整備、充実と研修の実施** ○　川南町育英会資金の貸与 ○　修学支援の充実 ○　学校教育改革検討委員会の設置	学校教育 学校教育 学校教育 学校教育

施策目標	活　動　施　策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
Ｖ　生涯を通じて学び、挑戦できる社会づくりの推進	１　生涯学習の振興	○　広報紙等による情報の発信 ○　人材バンクの整備・充実 ○　各ライフステージでの学習・発表の場の設定 ◎　**放課後児童クラブの充実** ○　社会教育関係団体との連携	生涯学習 生涯学習 生涯学習 生涯学習 生涯学習
	２　スポーツの振興	○　スポーツ少年団、各種スポーツ団体の育成及び活動の推進 ◎　**総合型地域スポーツクラブの設立** ○　ロードレース大会ｉｎかわみなみの充実 ○　各種スポーツ施設の整備及び管理、利用者間の調整 ◎　**町民スポーツ祭の開催** ◎　**スポーツ施設の指定管理者導入準備**	文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ 教育施設 文化スポーツ 文化スポーツ
	３　文化の振興	○　文化連盟の活動支援 ○　文化財保護審議会の開催 ○　文化財の保護活動の推進・啓発 ○　郷土芸能の伝承活動の充実（通浜三尺棒踊り、登り口奴踊り、沓袋百萬遍、川南盆踊り） ◎　**全国草原サミットの受入体制準備** ○　図書館、文化ホールの管理 ○　読書推進活動の促進 ○　文化意識向上の推進 ○　かわみなみ歌声あふれるまちづくり事業の充実	文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ

6　平成２８年度　教育課事業計画

事　業　名　等	内　　容
教育に関する町民意識の醸成（啓発活動）	教育に関する広報・情報提供等を通して、子どもの教育や地域社会全体の教育力の向上に向けた、町民意識の醸成を図る。
ホームページ開設学校数　Ｈ２５年度　７校　Ｈ２６年度　７校　Ｈ２７年度　７校　Ｈ２８年度（予定）　７校 町報川南への掲載回数　Ｈ２５年度　２回　Ｈ２６年度　２回　Ｈ２７年度　２回　Ｈ２８年度（予定）１２回	
Ｔｅａｍ　Ｋａｗａｍｉｎａｍｉ学びのネットワークづくり事業（子ども、学校支援活動、人材バンク）の充実	豊かな教育資源や人材をもつ地域が、多方面から学校の児童生徒の教育活動を支える仕組みを構築することで、児童生徒に社会を実感させるとともに、地域づくりと活力あるコミュニティの形成に寄与する。
教育資源活用プラン　Ｈ２５年度１０課　Ｈ２６年度１０課等　Ｈ２７年度１０課等　Ｈ２８年度（予定）１２課等 ネットワーク研修会　Ｈ２５年度　１回　Ｈ２６年度　１回　Ｈ２７年度　１回　Ｈ２８年度（予定）　１回	
放課後子どもプラン運営委員会の設置及び運営	放課後子ども教室と放課後児童クラブの在り方や適切な運営に関して、様々な見地から助言を受ける。
開催回数　Ｈ２５年度　１回　Ｈ２６年度　２回　Ｈ２７年度　２回　Ｈ２８年度（予定）　２回	
「早寝・早起き・朝ご飯」、「家読、お手伝い」、「あいさつ・声かけ」運動の推進	地域社会の連帯感を強め、思いやりの心を醸成するとともに、豊かな人間関係を育み、明るく安全で住みよい地域づくりを進めていくために、「大人も　子どもも『あいさつ名人』笑顔で　あいさつ・声かけ運動」等を推進する。
お知らせ「かわみなみ」への掲載回数 Ｈ２５年度3回　Ｈ２６年度　２回　Ｈ２７年度　２回　Ｈ２８年度（予定）１２回	
学校関係者評価委員会の充実	学校の取組に対して、積極的に保護者、地域住民等による評価を受けることにより、地域に開かれた学校づくりを推進する。
参加者数　唐瀬原中学校区　Ｈ２５年度１０人　Ｈ２６年度１０人　Ｈ２７年度１０人　Ｈ２８年度（予定）１０人 国光原中学校区　Ｈ２５年度１０人　Ｈ２６年度１０人　Ｈ２７年度１０人　Ｈ２８年度（予定）１０人 開催回数　唐瀬原中学校区　Ｈ２５年度１０回　Ｈ２６年度１０回　Ｈ２７年度１０回　Ｈ２８年度（予定）１０回 国光原中学校区　Ｈ２５年度１０回　Ｈ２６年度　９回　Ｈ２７年度　９回　Ｈ２８年度（予定）　９回	
家庭教育支援総合推進事業の充実（未就学児・小学生・中学生を持つ保護者・ＰＴＡ、関係者）	家庭教育支援の充実を図るため、子育てサポーターの資質の向上を図るリーダーの養成、親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供する。
研修会等開催回数　Ｈ２５年度　３回　Ｈ２６年度　３回　Ｈ２７年度　３回　Ｈ２８年度（予定）　３回	
家庭教育支援総合推進事業の充実（乳幼児や子育て中の親）	関係機関、施設間の連絡・連携体制を図るため子育て支援ネットワーク協議会を設置し、子育て支援の効果的な実施方法等の検討を行うとともに、社会教育施設等を活用して、子ども同士が遊ぶ場や、親子のふれあいの場、子育てサークルの交流、子育て相談等の事業を実施する。
子育て支援ネットワーク協議会の開催数 Ｈ２５年度2回　Ｈ２６年度（予定）２回　Ｈ２７年度　２回　Ｈ２８年度（予定）２回 ※　保健センターでは、３・９か月検診１２回、１歳半・３歳半検診６回の際にグループ単位で講話を実施している。	
ＣＲＴテスト等の分析結果を生かした学習指導の改善	小・中学生の学力の実態や学習状況を把握、分析し、学校の実態に応じた学力向上の取組を推進するために、標準学力検査（ＣＲＴ）等を積極的に活用する。
ＣＲＴ実施校　Ｈ２５年度　５校　Ｈ２６年度　５校　Ｈ２７年度５校　Ｈ２８年度（予定）７校 みやざき学力・学習状況調査結果で県平均以上学校数 Ｈ２５年度3校　Ｈ２６年度2校　Ｈ２７年度2校　Ｈ２８年度（予定）７校	

事　業　名　等	内　　　容
学校訪問の充実	各学校における学校運営状況の把握や授業力向上のための校内研修の取組に対し、指導や情報の提供を行い、研修の充実と指導力向上を支援する。
計画訪問回数Ｈ２５年度 唐瀬原中学校区４回　Ｈ２６年度 国光原中学校区３回　Ｈ２７年度　唐瀬原中学校区４回 Ｈ２８年度 国光原中学校区３回 視察訪問回数Ｈ２５年度 唐瀬原中学校区０回　Ｈ２６年度 唐瀬原中学校区４回　Ｈ２７年度　国光原中学校区３回 Ｈ２８年度 唐瀬原中学校区４回	
家庭と連携した家庭学習の充実（「家庭学習のすすめ」の活用）	各家庭と連携し、各教科ごとに、具体的な家庭学習の取組内容を作成し、確実な振り返り学習とともに家庭学習の習慣化を図る。
発行回数　Ｈ２５年度　1回（小学５年以上）　Ｈ２６年度　1回（全児童生徒）　Ｈ２７年度1回（全児童生徒 ＮＦ発行） Ｈ２８年度（予定）1回（全児童生徒）	
川南町ニューフロンティア教育研究会の充実（小中一貫教育、学校間連携の推進）	各学校が特色ある教育課程の編制を目指すとともに、その計画的な実施によって、児童生徒の「学力向上、心の教育の充実、体育・スポーツの振興、文化活動の推進」、「教職員の資質向上」、「町民の教育的関心」等を図り、川南町全体の教育の充実・振興に資する。
開催回数 全体会（総会・代表者会）Ｈ２５年度　3回　Ｈ２６年度　3回　Ｈ２７年度　3回 Ｈ２８年度　（予定）3回 分科会　Ｈ２５年度　各中学校区3回　Ｈ２６年度　3回　Ｈ２７年度　3回 Ｈ２８年度　（予定）3回	
奉仕活動やボランティア活動等、体験活動を生かした道徳教育の推進	児童生徒の発達の段階に即して、自然体験や奉仕活動やボランティア活動といった社会体験活動を計画的かつ効果的に実施し、生命や自然を大切にする心や他人を思いやる優しさ、たくましさや協調性、奉仕の精神などの豊かな人間性、社会性、規範意識の育成を図る。
主催･共催事業　Ｈ２５年度　3回　Ｈ２６年度　3回　Ｈ２７年度　3回　Ｈ２８年度（予定）3回	
生徒指導体制及び教育相談体制の整備・充実（いじめ防止への対応）	いじめや不登校、非行等問題行動などの未然防止や早期解決を図るとともに、子どもたちの悩み等に対応するため、専門家や地域人材を活用するなど、教育相談体制の充実を図る。
学校教育に係る教育相談の電話番号等の周知回数 Ｈ２５年度　2回　Ｈ２６年度2回　Ｈ２７年度　2回　Ｈ２８年度（予定）１２回	
不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実（フロンティアルームの充実）	学校に登校できない児童生徒やその保護者に対して、教育相談や教育支援を行う。
利用児童生徒数　Ｈ２５年度　2人（町内不登校児童数　１０人） Ｈ２６年度　4人（町内不登校児童数　１２人） Ｈ２７年度　3人（町内不登校児童数　１１人）　Ｈ２８年度（予定）2人	
Ｔｅａｍ Ｋａｗａｍｉｎａｍｉ 未来を拓け！輝く子どもの活動フォーラムの開催	将来の川南を担う町内全小中学校の児童生徒代表が一堂に会し、学校での子どもの特色ある活動や取組についての発表と意見交換を行うことにより、学校生活の充実に生かすなど児童生徒の活動のさらなる活性化を図る。　年1回8月初旬
参加者　Ｈ２５年度　小学生　２８人　中学生　１４人　教職員　１９人　保護者等２０人 Ｈ２６年度　（台風のため中止） Ｈ２７年度　小学生１６８人　中学生１５３人　教職員　１９人　保護者等５０人 Ｈ２８年度（予定）小学生１４５人　中学生３３６人　教職員　４０名　保護者等９０人	
町立小・中学校の在り方の検討	今後の少子化の進展を踏まえ、町立小・中学校の在り方について、公聴会、検討会等を行い、方向性を協議する。
公聴会、アンケート、検討会、説明会等	

<table>
<tr><th>事　　業　　名　　等</th><th>内　　　　　　　　　　　容</th></tr>
<tr><td>食育（心身の健康と食の役割啓発及び地産地消、弁当の日）の推進</td><td>食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健やかな心身を育むための基礎を培うため、家庭や地域などと連携しながら、学校における食に関する指導の充実や「弁当の日」の推進に取り組む。</td></tr>
<tr><td colspan="2">弁当の日実施校　Ｈ２５年度　７校　各２回　　Ｈ２６年度　７校　各２回　Ｈ２７年度７校　各２回
Ｈ２８年度（予定）７校　各２回</td></tr>
<tr><td>安全、安心な学校給食の実施</td><td>栄養教諭等を中核とした学校、家庭、地域の連携による食に関する指導の推進体制の整備に努めるとともに、食育に関する実践研究に努め、あわせて食に関する指導を充実させるため、学校給食において地場産物を活用する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">浜うどん汁　Ｈ２５年度　２回　Ｈ２６年度　２回　Ｈ２７年度　３回　Ｈ２８年度（予定）　２回
トロン汁　Ｈ２５年度　３回　Ｈ２６年度　３回　Ｈ２７年度　３回　Ｈ２８年度（予定）　３回
食に関するＴ・Ｔ授業　Ｈ２５年度　２０回　Ｈ２６年度　２０回　Ｈ２７年度２０回　Ｈ２８年度（予定）２０回</td></tr>
<tr><td>安全教育の推進（児童生徒の通学路等の点検）</td><td>安全に関して適切に判断する力や実践的な態度を育成するために、地域安全マップづくりや警察や消防等の専門家を活用した防犯・防災教室等の実施など効果的な取組に努め、生命尊重を基盤とした意図的かつ計画的な安全教育の推進に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">点検実施校　Ｈ２５年度　７校　　Ｈ２６年度　７校　Ｈ２７年度　７校　Ｈ２８年度（予定）７校</td></tr>
<tr><td>就学相談の実施</td><td>保育所等を対象とした理解啓発活動の推進により、乳幼児期からの適切な支援や早期教育相談の充実を図り、就学移行期における適切な就学相談体制の確立に取り組むとともに、小・中学校における個別の教育支援計画等の活用を図り、関係機関と連携した支援体制の整備や支援の充実に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催回数　Ｈ２５年度　１回　参加幼児数　５人　Ｈ２６年度　　１回　参加幼児数　１５人
Ｈ２７年度　１回　参加幼児数　１５人　Ｈ２８年度（予定）１回　参加幼児数　１５人</td></tr>
<tr><td>教育支援委員会の実施</td><td>特別な支援が必要となる新就学児及び町立小中学校に就学中の児童生徒について、各校長及び特別支援コーディネーター、外部有識者等で構成し、必要な支援について協議を行い、教育委員会からの諮問に対して答申する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催回数　Ｈ２５年度　２回　Ｈ２６年度　２回　Ｈ２７年度　２回　Ｈ２８年度（予定）２回</td></tr>
<tr><td>特別な支援を要する児童生徒の指導に関する実践的研修の実施</td><td>多様な教育的ニーズに対応した専門研修プログラムの開発により、障がいの重度・重複化、多様化に対応できる特別支援教育担当教員の指導力の向上や、発達障がいに対応できる小・中学校の教員の養成に努めるとともに、特別支援教育の中心的役割を担う特別支援教育コーディネーターの専門性及び資質の向上を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修開催回数　Ｈ２５年度　１回　Ｈ２６年度　１回　Ｈ２７年度　１回　Ｈ２８年度（予定）１回</td></tr>
<tr><td>思いやりいっぱいの言葉遣いの励行</td><td>全教育活動を通して自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができるなどの人権感覚を育成するために、児童生徒の発達の段階や学校、地域等の実態を踏まえた学校としての人権教育の目標の設定や全体計画等の策定を行い、学校間の連携を図りながら校内推進体制の確立と充実に努めるとともに、取組の点検、評価を行う。また、具体的な取組の一つとして、言葉遣いの指導を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">思いやりいっぱいの言葉遣いを励行した学校数
Ｈ２５年度７校　Ｈ２６年度７校　Ｈ２７年度　７校　Ｈ２８年度（予定）７校</td></tr>
</table>

事　業　名　等	内　　　　　　容
人権尊重の精神にあふれる、高い専門性をもった教職員の養成	教職員自らの人権感覚の高揚と教職員の人権教育に関する専門的指導力の向上を図るために、参加体験型学習等の校内外研修に積極的に取り組み、人権尊重の精神が学校・学級全体にみなぎる教育基盤の整備に努める。
町研修会開催回数　Ｈ２５年度　１回　Ｈ２６年度　０回　Ｈ２７年度　０回　Ｈ２８年度（予定）１回	
ＩＣＴの整備	情報通信技術（ＩＣＴ）の活用や情報モラルに関する教育等を通して、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、教員のＩＣＴ活用指導力の向上や校務の情報化を図るなど、学校における教育の情報化を推進する。
コンピュータ 教職員配置数　Ｈ２５年度９４．７％　Ｈ２６年度　９４．７％　Ｈ２７年度９７．０％　Ｈ２８年度（予定）１００％ 児童生徒用数　Ｈ２５年度　１０１台　Ｈ２６年度　１０１台　Ｈ２７年度　１２６台　Ｈ２８年度（予定）２１８台	
外国語指導助手の配置と活用促進	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際的な視野で考える力の育成、コミュニケーション能力の向上など、国際化に対応した教育を推進する。夏季休業中等の保育所等での活用も推進する。
授業回数　Ｈ２５年度　１７５回　Ｈ２６年度　１９０回　Ｈ２７年度　１９０回　Ｈ２８年度（予定）１９０回	
開拓の歴史や川南のたから「自然・文化財等」を活用した活動の推進	川南における自然、環境、歴史、伝統（文化、芸能）、産業、生活（料理、行事）、文化など、地域の持つ豊かで多様な教育資源を活用しながら、地域のよさや課題について理解を深め、「ふるさと川南」に対する誇りや愛着を育む。
活用した学校数　Ｈ２５年度　７校　１０８回　Ｈ２６年度 ７校 １２０回　Ｈ２７年度 ７校 １２０回 Ｈ２８年度（予定）７校 １２０回 活用した団体数　Ｈ２５年度　８団体　Ｈ２６年度　１０団体　Ｈ２７年度　１０団体 Ｈ２８年度（予定）　１０団体	
川南の記念日等（リ・ボーンデイ、県民一斉「消毒の日」等）を利用した活動啓発	２月１１日の「町制施行記念日」や７月１日の「リ・ボーンデイ」、毎月２０日県で取り組む「県内一斉消毒の日」等の意義について理解し、感謝と生活に生かすことができる態度を育成する。
活用した学校数　Ｈ２５年度　０　校　０回　Ｈ２６年度 ０校　０回　Ｈ２７年度 ０校　０回 Ｈ２８年度（予定）　７校　７回	
学校の行事や総合的な学習の時間等を活用した町歌斉唱や郷土芸能の伝承活動の推進	川南における自然、環境、歴史、伝統（文化、芸能）、産業、生活（料理、行事）、文化など、地域の持つ豊かで多様な教育資源を活用しながら、地域のよさや課題について理解を深め、「ふるさと川南」に対する誇りや愛着を育む。
運動会等で伝統芸能を発表した学校数 Ｈ２５年度　５校　Ｈ２６年度　７校　Ｈ２７年度　７校　Ｈ２８年度（予定）７校	
三大開拓地交流事業の推進	日本三大開拓地間の児童生徒の交流を促進することで、先人の残した業績を知り、地元への愛着とこれから町内外へ社会的貢献をしていこうとする態度を育成する。
参加人数　Ｈ２５年度　２０人　Ｈ２６年度　２０人　Ｈ２７年度　２２人　Ｈ２８年度（予定）　２０人	
子ども会、公民館活動、ボランティア活動等への積極的参画の推進	子ども会や公民館等の社会教育関係団体が主催するボランティア活動や世代を超えた交流活動などの情報提供を行い、地域活動への子どもたちの積極的な参画を図り、地域のよさや課題にふれ、地域の一員として地域の課題解決に取り組む意識を高める。
子ども会加盟児童生徒数　Ｈ２５年度　７６２人　Ｈ２６年度　７０７人　Ｈ２７年度　７１１人 Ｈ２８年度（予定）７１０人	

<table>
<tr><th>事　業　名　等</th><th>内　　　　　容</th></tr>
<tr><td>企業等との連携によるキャリア教育の推進</td><td>地域の企業等との連携を推進し、実践的かつ体験的なキャリア教育の充実に取り組む。また、社会教育関係団体や企業、ＮＰＯ法人、文化団体等の教育活動への参画を促すとともに、団体相互のネットワークの構築を図り、「子どもの夢や希望を育む」環境づくりを推進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャリア教育を研究主題とする学校数
Ｈ２５年度　1校　Ｈ２６年度　1校　Ｈ２７年度　1校　Ｈ２８年度（予定）1校
企業等と連携した学校数
Ｈ２５年度　7校　Ｈ２６年度　7校　Ｈ２７年度　7校　Ｈ２８年度（予定）7校</td></tr>
<tr><td>教職員研修の充実</td><td>教職員の資質向上を図るため、教育委員会が実施する体系的かつ計画的な研修の充実に努めるとともに、各学校のニーズに応じた校内研修等のサポートや教育情報の提供を積極的に実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">初任者研修回数　Ｈ２５年度（1名）5回　Ｈ２６年度（該当者なし）0回　Ｈ２７年度4回　Ｈ２８年度（予定）4回
１０年経過研修　Ｈ２５年度（4名）2回　Ｈ２６年度（2名）　1回　Ｈ２７年度1回　Ｈ２８年度（予定）1回</td></tr>
<tr><td>川南町教育研究所の充実</td><td>教職員の資質の向上を目的に川南町学校教育研究所を設置、運営し、教職員が個人研究や共同研究を行える環境づくりを検討する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修員数　Ｈ２５年度　未設置　Ｈ２６年度　7名（各学校1名）　Ｈ２７年度１３名（各学校２名）
Ｈ２８年度（予定）１４名</td></tr>
<tr><td>町教育研究論文への積極的な応募</td><td>未来を拓く確かな力をつける教育の創造を目指して、川南町立小・中学校における指導上における諸問題の解明と教職員のさらなる指導力の向上に資するため教育研究論文を募集する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">応募者数　Ｈ２５年度　２２点　Ｈ２６年度　２５点　Ｈ２７年度　２３点　Ｈ２８年度（予定）２５点</td></tr>
<tr><td>地域と連携した学校保健・学校安全計画（地震・津波等）の充実</td><td>「自らの危機を予測し、回避する能力を高める」安全教育を小中９年間を通して、発達段階に応じて継続的に推進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">避難訓練実施学校数　Ｈ２５年度　7校　Ｈ２６年度　7校　Ｈ２７年度　7校
Ｈ２８年度（予定）7校
地域における避難訓練参加（通浜地区）　Ｈ２５年度　1回　Ｈ２６年度　1回　Ｈ２７年度　1回
Ｈ２８年度（予定）1回</td></tr>
<tr><td>教育環境の整備</td><td>既存の建物について、その性能を維持し将来にわたり安全、安心な活用を図るため計画的な早期保全による建物の長寿命化を推進する。また、快適な教育環境を整え、学習意欲の向上を目指す。</td></tr>
<tr><td colspan="2">補修等工事　Ｈ２５年度　0件　Ｈ２６年度　工事２か所（小学校）　設計２校（中学校）
Ｈ２７年度　工事１０か所（小学校５、中学校５）
Ｈ２８年度（予定）工事　５か所（小学校３、中学校２）</td></tr>
<tr><td>川南町育英会資金の貸与</td><td>向学心に富みながら経済的理由により修学が困難な生徒に対する支援として、川南町育英会資金の貸与を勧める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">貸与者数　Ｈ２５年度　３２人　Ｈ２６年度　３５人　Ｈ２７年度　４２人　Ｈ２８年度（予定）４０人</td></tr>
<tr><td>広報紙の掲載</td><td>学習者が必要とする様々な学習情報をいつでもどこでも入手でき、学習に参加できるように努めるとともに、個人が学習したことにより得られた経験や知識等が社会で発揮できるような体制を整備する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">発行回数　Ｈ２５年度　１２　回　Ｈ２６年度　１２回　Ｈ２７年度　１２回　Ｈ２８年度（予定）１２回</td></tr>
</table>

事　業　名　等	内　　　容
人材バンクの整備・充実	多様化する町民の学習ニーズに応え、町民が必要とする生涯学習に関する情報を広くかつ迅速に入手することができるように「人材バンク」等の充実を中心とした情報提供の充実に努め、町民の生涯学習を支援する。
登録数　Ｈ２５年度　１１８事業所等　Ｈ２６年度　１５１事業所等　Ｈ２７年度　１８４事業所等 Ｈ２８年度（予定）２００事業所等	
ジュニアリーダーの育成 （元気っ子サークル）	体験活動を通じ、人間としての「思いやりの心」や、「生きる力」を養い、リーダーとしての資質や能力を高める。
開催回数　Ｈ２５年度　１０回　Ｈ２６年度　１０回　Ｈ２７年度　１１回　Ｈ２８年度（予定）１１回	
放課後子ども教室推進事業 （元気っ子子ども教室） （小学生３年生以上）	小学校の余裕教室等を活用し、地域の多様な方々の参画を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを行なう。特に郷土愛を育む活動（農地活性化プロジェクト参加や各地区の歴史に触れる等）に努めている。
開催回数　Ｈ２５年度　４３回　年間参加者延べ人数　２９００人 Ｈ２６年度　４０回　年間参加者延べ人数　２７００人 Ｈ２７年度　４０回　年間参加者延べ人数　３０００人 Ｈ２８年度（予定）４０回　年間参加者延べ人数　３０００人	
児童クラブの充実	児童福祉法の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している子どもたち（放課後児童）に対し、授業の終了後に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る。
年間参加者延べ人数　Ｈ２５年度１５８００人　Ｈ２６年度１６０００人　Ｈ２７年度１６６００人 Ｈ２８年度（予定）１６６００人	
各地区高齢者教室の開催 （町内高齢者）	高齢者社会を健やかに生きる生活技術の習得を図る。 健康教育、人権教育、交通安全教育、消費生活の心得
開催回数　Ｈ２５年度　４２回　Ｈ２６年度　３８回　Ｈ２７年度　３９回　Ｈ２８年度（予定）　３９回 参加者延べ人数　Ｈ２５年度１５９６人　Ｈ２６年度１１９９人　Ｈ２７年度１３００人　Ｈ２８年度（予定）１６００人	
山茶花ふれあい学園の開催 （概ね６０歳以上）	多様化・高度化する社会環境や生活環境に対応した高齢者の学習意欲に応えるため、生きがいを求め幅広い分野について学習活動を行うとともに、地域のリーダー養成を図る。
開催回数　Ｈ２５年度　２２回　Ｈ２６年度　２３回　Ｈ２７年度　２０回　Ｈ２８年度（予定）　２０回 参加者延べ人数　Ｈ２５年度５８０人　Ｈ２６年度５００人　Ｈ２７年度　４００人　Ｈ２８年度（予定）５００人	
家庭教育学級の開催 （小・中学校の保護者）	保護者の家庭教育力の向上を目的として、家庭教育に関する学習の場を設け、保護者としての資質の向上を図る。特に、父親の参加促進を図る（※男性の参加はほとんどない)。
開催回数　Ｈ２５年度　１３回　Ｈ２６年度　１５回　Ｈ２７年度（予定）１５回	
女性講座（町内女性）	男女の意識改革、男女共同参画社会づくりのため、生活課題や社会課題に関する学習の機会を提供することにより、女性の連帯を強めるとともに資質の向上を図る。
開催回数　Ｈ２５年度　２回　Ｈ２６年度　２回　Ｈ２７年度　１回　Ｈ２８年度（予定）　２回 参加者延べ人数　Ｈ２５年度８０人　Ｈ２６年度１４０人　Ｈ２７年度１００人　Ｈ２８年度（予定）１００人	
町ＰＴＡ連絡協議会との連携	町内各学校のＰＴＡで組織する町ＰＴＡ連絡協議会に対して、適切な助言や支援を行う。
開催回数　Ｈ２５年度　６回　Ｈ２６年度　６回　Ｈ２７年度　６回　Ｈ２８年度（予定）６回	

<table>
<tr><th>事　業　名　等</th><th>内　　　　　容</th></tr>
<tr><td>成人式の開催</td><td>成人となったことを祝い励ますとともに、厳粛な式典の参加を通して、社会人としてのマナーを学ぶ機会として成人式典を開催する。１月３日（サンA川南文化ホール）</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加者数　Ｈ２５年度　１４９人　Ｈ２６年度　１７８人　Ｈ２７年度１２０人　Ｈ２８年度（予定）１５０人</td></tr>
<tr><td>青少年指導者の育成</td><td>健全な青少年を育成するために、研修会等を通じて町内の青少年を育成する指導者等を育成する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修会回数　Ｈ２５年度　１回　Ｈ２６年度　１回　Ｈ２７年度　１回　Ｈ２８年度（予定）　１回
町内巡回補導　Ｈ２５年度　１３回　Ｈ２６年度１３回　Ｈ２７年度　３回　Ｈ２８年度（予定）１３回</td></tr>
<tr><td>生涯学習講座
（一般町民）</td><td>町民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習の機会を提供するため、通年及び長期又は短期の学習講座を開設する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開設講座数　Ｈ２５年度　２講座　Ｈ２６年度　２講座　Ｈ２７年度　２講座　Ｈ２８年度（予定）　２講座
開催回数　Ｈ２５年度各２０回　Ｈ２６年度各２０回　Ｈ２７年度各２０回　Ｈ２８年度（予定）各２０回
参加者延べ人数　Ｈ２５年度　４０人　Ｈ２６年度　３８人　Ｈ２７年度　３０人　Ｈ２８年度（予定）　３０人</td></tr>
<tr><td>生涯学習大会の開催</td><td>個人や団体及び地域・学校等で取り組んだ学習や事業の実践報告、作品展示、講演会等を行うことにより、町民の生涯学習への関心を高めるとともに実践化への意欲を喚起し、生涯学習の振興と充実を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">発表参加人数　Ｈ２５年度　１４人　Ｈ２６年度　１１人　Ｈ２７年度　１４人　Ｈ２８年度（予定）　１４人
参加者数　Ｈ２５年度　４３８人　Ｈ２６年度３９５人　Ｈ２７年度４５０人　Ｈ２８年度（予定）４５０人</td></tr>
<tr><td>スポーツ推進委員会の開催</td><td>地域の生涯スポーツの普及のために、学識経験者やスポーツ経験者等からなる推進委員会を設置し、多方面から意見を求め、本町のスポーツ振興施策に生かす。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催回数　Ｈ２５年度　１２回　Ｈ２６年度　１２回　Ｈ２７年度　１２回　Ｈ２８年度（予定）１２回</td></tr>
<tr><td>ロードレース大会ｉｎかわみなみ</td><td>ランニング愛好者等の健康と体力増進、スポーツイベントを通じた交流の輪の広がりによる地域活性化を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加者数　Ｈ２５年度　１６６人　Ｈ２６年度　４２８人　Ｈ２７年度　６０６人　Ｈ２８年度（予定）８００人</td></tr>
<tr><td>総合型地域スポーツクラブの充実</td><td>年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、より多くの町民のニーズに応じた活動が行える総合型地域スポーツクラブの充実を図り、多くの住民が参加する環境づくりを行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">会員数　Ｈ２７年度　８０人　Ｈ２８年度（予定）１００人</td></tr>
<tr><td>各種スポーツ団体の育成及び活動の推進（スポーツ団体活性化事業）</td><td>スポーツ団体への指導助言及び財政的支援を行い、スポーツの振興とスポーツ団体の発展・活性化を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">町内のスポーツ団体数
Ｈ２５年度　４２団体　Ｈ２６年度　４２団体　Ｈ２７年度４２団体　Ｈ２８年度（予定）４２団体</td></tr>
<tr><td>各種スポーツ施設の整備及び管理、利用者間の調整</td><td>スポーツ施設の利便性の向上に努めるとともに、より多くの町民が様々なスポーツで利用できるよう施設利用の調整と施設の充実を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">利用者数　Ｈ２５年度６００００人　Ｈ２６年度６５０００人　Ｈ２７年度６５０００人　Ｈ２８年度（予定）６５０００人</td></tr>
<tr><td>スポーツ少年団入団式の開催</td><td>年度初めにスポーツ少年団員が集い入団式を行うことにより、少年団員としての自覚をもち、決意を新たにする場とする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加団体数　Ｈ２５年度　２３団体　Ｈ２６年度　２３団体　Ｈ２７年度　２３団体　Ｈ２８年度（予定）２３団体
参加者数　Ｈ２５年度　３７２人　Ｈ２６年度　４００人　Ｈ２７年度　４００人　Ｈ２８年度（予定）４００人</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事　業　名　等</th><th>内　　　　　容</th></tr>
<tr><td>スポーツ少年団指導者講習会等各種研修会の開催</td><td>スポーツ団体、体育・レクリエーション指導者を対象に各種研修会に派遣するとともに実技研修等を行い指導者としての資質の向上を図り、生涯スポーツの推進と充実を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催回数　Ｈ２５年度　５回　Ｈ２６年度　５回　Ｈ２７年度　５回　Ｈ２８年度（予定）５回</td></tr>
<tr><td>スポーツ少年団交流大会の開催</td><td>スポーツ少年団活動の活性化を促進し、団相互の交流と親睦を図るとともに、心身ともに健全な青少年育成を目的に開催する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催回数　Ｈ２５年度　１回　Ｈ２６年度　１回　Ｈ２７年度　１回　Ｈ２８年度（予定）　１回
参加者数　Ｈ２５年度　２３０人　Ｈ２６年度２００人　Ｈ２７年度１７４人　Ｈ２８年度（予定）２５０人</td></tr>
<tr><td>スポーツ教室
（全町民）</td><td>健康増進、体力向上、競技力向上を図るとともに、スポーツの振興と生涯スポーツの推進を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催回数　Ｈ２５年度　１１回　Ｈ２６年度　１１回　Ｈ２７年度　１１回　Ｈ２８年度（予定）　１１回
参加者延べ人数　Ｈ２５年度２２０人　Ｈ２６年度３３０人　Ｈ２７年度３１５人　Ｈ２８年度（予定）３３０人</td></tr>
<tr><td>町民バレーボール大会
（全町民）</td><td>健康増進と体力向上を図るとともに、世代間の交流親睦を深め町民相互の連帯感を育み、地域の活性化を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催回数　Ｈ２５年度　１回　Ｈ２６年度　１回　Ｈ２７年度　１回　Ｈ２８年度（予定）　１回
参加者延べ人数　Ｈ２５年度４７９人　Ｈ２６年度３５４人　Ｈ２７年度３１５人　Ｈ２８年度（予定）５００人</td></tr>
<tr><td>ふれあいスポーツ大会
（自治公民館）</td><td>健康増進と体力向上を図るとともに、世代間の交流親睦を深め町民相互の連帯感を育み、地域の活性化を図る。
４月～３月（運動公園・農村公園ほか）</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催回数　Ｈ２５年度　２３回　Ｈ２６年度　１７回　Ｈ２７年度　２０回　Ｈ２８年度（予定）　２０回
参加者延べ人数　Ｈ２５年度２０００人　Ｈ２６年度１６４７人　Ｈ２７年度２４００人　Ｈ２８年度（予定）２４００人</td></tr>
<tr><td>町民スポーツ祭（町民体育大会）の開催</td><td>オリンピック開催年に町民が一堂に会し、スポーツの振興、町民の元気、魅力、各地域の地域力を発信する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催回数　Ｈ２４年度　１回　Ｈ２８年度（予定）　１回
参加者延べ人数　Ｈ２４年度１２００人　Ｈ２８年度（予定）１３００人</td></tr>
<tr><td>文化財保護審議会の開催</td><td>町民の文化活動をより一層活性化するため、学識経験者などからなる委員会を開催し、意見を反映させることで、教育機関、企業等と行政とが相互に連携、協働できる体制の整備に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催回数　Ｈ２５年度　３回　Ｈ２６年度　３回　Ｈ２７年度　３回　Ｈ２８年度（予定）３回</td></tr>
<tr><td>文化財保護の啓発（文化財パンフレットの活用）</td><td>本町の様々な文化資源の魅力について町民が理解を深め、活用につなげられるよう、文化資源の活用や情報発信に取り組む。</td></tr>
<tr><td colspan="2">フェイスブック掲載　Ｈ２５年度　１０回　Ｈ２６年度　１０回　Ｈ２７年度１５回　Ｈ２８年度（予定）１５回</td></tr>
<tr><td>文化財の保護活動の推進</td><td>長い歴史と豊かな風土に培われ守り伝えられた有形、無形の文化財を、大切に保護、継承し、積極的に活用する環境づくりを推進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催回数　Ｈ２５年度　４４回　Ｈ２６年度　４４回　Ｈ２７年度　４４回　Ｈ２８年度（予定）４４回</td></tr>
<tr><td>郷土芸能の伝承活動の充実（通浜三尺棒踊り、登り口奴踊り、香袋百萬遍、川南盆踊り、唐瀬子ども神楽）</td><td>これまでに町民が培ってきた生活に根ざした文化や地域の伝統文化を風化させることなく、確実に次世代に継承するため、子どもたちに文化を伝える機会の提供や、地域に残る文化の保存に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">郷土芸能の伝承活動に取り組む学校数
Ｈ２５年度　７校　Ｈ２６年度　７校　Ｈ２７年度　７校　Ｈ２８年度（予定）７校</td></tr>
</table>

平成２９年度から平成３１年度までの児童・生徒及び学級数増減見込み

平成２９年度

小学校名	児童数及び学級数見込 １学年	２学年	３学年	４学年	５学年	６学年	特別	計	中学校名	生徒数及び学級数見込 １学年	２学年	３学年	特別	計
川南小学校	3	3	2	2	3	2	3	18	唐瀬原中学校	2	3	3	2	10
	76	74	77	68	85	72	20	472		67	86	97	9	259
通山小学校	1	1	1	1	1	1	2	8	国光原中学校	3	2	2	2	9
	26	23	32	29	35	35	9	189		72	68	63	4	207
東　小学校	1	1	1	1	1	1	1	7	合計	5	5	5	4	19
	26	16	19	26	20	26	2	135		139	154	160	13	466
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	2	8						
	11	11	17	16	14	9	5	83						
山本小学校	1	1	1	0	1	1	0	5						
	11	11	9	9	4	12	0	56						
合計	7	7	6	5	7	6	8	46						
	150	135	154	148	158	154	36	935						

平成３０年度

小学校名	児童数及び学級数見込 １学年	２学年	３学年	４学年	５学年	６学年	特別	計	中学校名	生徒数及び学級数見込 １学年	２学年	３学年	特別	計
川南小学校	3	3	2	2	2	3	3	18	唐瀬原中学校	3	2	3	3	11
	71	76	74	77	68	85	14	465		95	67	86	12	260
通山小学校	1	1	1	1	1	1	2	8	国光原中学校	2	3	2	2	9
	27	26	23	32	29	35	7	179		59	72	68	6	205
東　小学校	1	1	1	1	1	1	1	7	合計	5	5	5	5	20
	22	26	16	19	26	20	2	131		154	139	154	18	465
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	2	8						
	16	11	11	17	16	14	4	89						
山本小学校	1	1	1	1	0	1	0	5						
	11	11	11	9	9	4	0	55						
合計	7	7	6	6	5	7	8	46						
	147	150	135	154	148	158	27	919						

平成３１年度

小学校名	児童数及び学級数見込 １学年	２学年	３学年	４学年	５学年	６学年	特別	計	中学校名	生徒数及び学級数見込 １学年	２学年	３学年	特別	計
川南小学校	3	3	2	2	2	2	2	16	唐瀬原中学校	3	3	2	3	11
	77	71	76	74	77	68	9	452		91	95	67	16	269
通山小学校	1	1	1	1	1	1	1	7	国光原中学校	2	2	3	2	9
	21	27	26	23	32	29	5	163		67	59	72	9	207
東　小学校	1	1	1	1	1	1	0	6	合計	5	5	5	5	20
	12	22	26	16	19	26	0	121		158	154	139	25	476
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	1	7						
	13	16	11	11	17	16	3	87						
山本小学校	1	1	1	1	1	0	0	5						
	13	11	11	11	9	9	0	64						
合計	7	7	6	6	6	5	4	41						
	136	147	150	135	154	148	17	887						

事　業　名　等	内　　　容
図書館、文化ホールの管理	文化に係る各分野における鑑賞、学習、交流、連携など、文化を育む拠点としての機能の充実を図り、町民にとってより身近で活用しやすい施設づくりに努める。(指定管理者により実施)
図書館利用者数　Ｈ２５年度５８０００人　Ｈ２６年度５６４０３人　Ｈ２７年度６０５９５人　Ｈ２７年度（予定）６００００人 文化ホール利用者数　Ｈ２５年度２３０００人　Ｈ２６年度２２８０２人　Ｈ２７年度２５７４９人　Ｈ２７年度（予定）２５０００人	
図書館の貸出業務等の充実	生涯学習の拠点施設の一つとして、町民の多様化、高度化する学習・情報ニーズに対応するため、図書資料の収集、整理・保存に努め、利用促進を図る。(指定管理者により実施)
貸出し冊数　Ｈ２５年度５３０００冊　Ｈ２６年度５０５２１冊　Ｈ２７年度５５１９７冊　Ｈ２８年度（予定）５５０００冊 貸出し延べ人数　Ｈ２５年度１３０００人　Ｈ２６年度１１２０３人　Ｈ２７年度１２３４３人　Ｈ２８年度（予定）１５０００人	
読書感想文・画コンクール（小・中学生）	小・中学生を対象に、読書感想文・画コンクールを行い、読書意欲の喚起を図る。(指定管理者により実施)
応募者数　Ｈ２５年度　４２３人　Ｈ２６年度　２１０人　Ｈ２７年度　１４２人　Ｈ２８年度（予定）２００人	
絵本の読み聞かせ（幼児及び低学年）	子どもの情操と想像力を豊かにするとともに、親子のふれあいを深める絵本の読み聞かせを実施する。(指定管理者により実施)
開催回数　Ｈ２５年度　２４回　Ｈ２６年度　２２回　Ｈ２７年度　２４回　Ｈ２８年度（予定）　２４回 参加者延べ人数　Ｈ２５年度３７０人　Ｈ２６年度３１８人　Ｈ２７年度３２２人　Ｈ２８年度（予定）４００人	
図書館まつり（町民全般）	子どもから大人まで楽しめる行事を企画し、(図書館を身近に感じてもらい)、読書推進と図書館利用の向上を図る。(指定管理者により実施)
開催回数　Ｈ２５年度　1回　Ｈ２６年度　1回　Ｈ２７年度　1回　Ｈ２８年度（予定）　1回 参加者延べ人数　Ｈ２５年度　７４９人　Ｈ２６年度７５０人　Ｈ２７年度１４４３人　Ｈ２８年度（予定）７７０人	
読み聞かせ講座（町民全般）	読書活動に関わるボランティアや幼児・児童を持つ保護者を対象に読書活動の支援者等の技術向上を図り、読み聞かせの普及を図る。(指定管理者により実施)
開催回数　Ｈ２５年度　1回　Ｈ２６年度　1回　Ｈ２７年度　1回　Ｈ２８年度（予定）　2回 参加者延べ人数　Ｈ２５年度１４０人　Ｈ２６年度　１７人　Ｈ２７年度２０人　Ｈ２８年度（予定）４０人	
図書館協議会	町民の代表者である有識者等が、図書館運営や町民の読書推進に向けて協議する。(指定管理者により実施)
開催回数　Ｈ２５年度　3回　Ｈ２６年度　3回　Ｈ２７年度　3回　Ｈ２８年度（予定）　3回	
文化ホール運営委員会	町民の代表者である有識者等が、文化ホール運営や町民の文化面の充実に向けて協議する。(指定管理者により実施)
開催回数　Ｈ２５年度　3回　Ｈ２６年度　3回　Ｈ２７年度　3回　Ｈ２８年度（予定）　3回	
かわみなみ歌声あふれるまちづくり事業の充実（一般、学生、児童生徒）	町内外の合唱団の交流による音楽のまちづくり ・コンサート(８・３月)　・ミニコンサート　(年２回) ・合唱団交流(年２回)・合唱指導(小・中・高・一般)
サマーコンサート参加者数　Ｈ２５年度４５７人　Ｈ２６年度４０５人　Ｈ２７年度４７１人　Ｈ２８年度（予定）５００人 スプリングコンサート参加者数　Ｈ２５年度４５０人　Ｈ２６年度５１７人　Ｈ２７年度５００人　Ｈ２８年度（予定）５００人	

平成２８年度　川南町立小・中学校の学級編制状況

学　校　名	学　年　別　児　童　・　生　徒　数　及　び　学　級　数							
	１年	２年	３年	４年	５年	６年	特別支援	計
川南小学校	3	3	2	3	2	2	3	18
	74	77	68	85	72	57	22	455
通山小学校	1	1	1	1	1	1	2	8
	23	32	29	35	35	40	10	204
東　小学校	1	1	1	1	1	1	1	7
	16	19	26	20	26	15	3	125
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	2	8
	11	17	16	14	9	19	6	92
山本小学校	1	1	└┘	1	1	1	1	6
	11	9	9	4	12	8	1	54
小　　計	7	7	5	7	6	6	9	47
	135	154	148	158	154	139	42	930
唐瀬原中学校	3	3	3				1	10
	86	97	101				8	292
国光原中学校	2	2	2				2	8
	68	63	55				5	191
小　　計	5	5	5				3	18
	154	160	156				13	483
総　　計	12	12	10	7	6	6	12	65
	289	314	304	158	154	139	55	1413

平成２８年度学校給食計画

１　学校給食共同調理場の役割について

児童生徒に安全・安心な給食を安定的に提供するため、学校給食共同調理場では、食の安全性に対して常に高い危機意識を持ち、各マニュアルに基づいた衛生管理の徹底を第一に管理運営をする。また、栄養バランスの取れた献立による給食の提供により、児童生徒の健全な食生活の実現を図る。

さらに、栄養教諭、学校栄養職員を中心とした食育指導及び郷土食の伝承等の取組みを実践するとともに、地域の支援体制を整え、地元食材を取入れ安定した食材の購入を行うことで生きた教材としての充実を図る。

２　学校給食費

	１食あたりの単価	年間実施試算日数	月額食材費等分	月額光熱水費分	月額学校給食費	年額学校給食費総額
小学校	222 円	192 日	3,880 円	20 円	3,900 円	42,900 円
中学校	266 円	187 日	4,530 円	20 円	4,550 円	50,050 円

＊年額学校給食費は、１１月分

３　学校給食会会計予算　　単位：円

歳　入		歳　出	
１　食費納入金	71,307,000	１　学校給食会費	71,306,000
２　町 支 出 金	300,000	光熱水費	347,000
３　財 産 収 入	1,000	賄材料費	70,958,000
４　繰　入　金	1,000	積 立 金	1,000
５　繰　越　金	1,000	２　学校給食地産地消促進事業	330,000
６　諸　収　入	26,000		
計	71,636,000	計	71,636,000

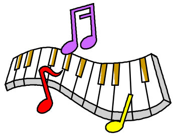
４　職員配置

- 教育課長　町職員　１人
- 所　　長　町職員　１人
- 栄養教諭　県職員　１人
- 栄養職員　県職員　１人
- 事務職員　パート職員（常勤）　１人
- 調理及び配送業務　委託　シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
  開始　平成 25 年 8 月　1 日
  終了　平成 28 年 7 月 31 日

  委託　株式会社文化コーポレーション
  開始　平成 28 年 8 月　1 日
  終了　平成 31 年 7 月 31 日

保護者用

川南町教育支援教室（フロンティアルーム）



1　目　　的
学校に登校できないお子さんや保護者の方に対して、教育相談や教育支援等を行います。

2　基本方針
(1) 教育相談や学習指導等、一人一人に応じた適切な支援を行うことにより、学校生活への復帰を目指します。
(2) 個別指導と集団における指導を行い、学校生活・社会生活に必要なマナーを体得し、自立を促し、社会性を育成していきます。
(3) 学校及び保護者、関係機関と連携を図り、支援に努めるとともに、不登校の解消に関する調査研究を行います。

3　対　　象
川南町内の小・中学校に在籍し、学校への復帰を図ろうとするお子さん
(1) 学校への登校が困難で、継続的または長期欠席のお子さん
(2) 不安や心身の不調を訴える等、心因的に不安定な状況にあるお子さん
(3) 自宅に引きこもり、保護者の方も不登校として認知しているお子さん
(4) 特に生徒指導上の問題行動（暴力行為や不純異性交遊等）がないお子さん

4　指導員
・　フロンティアルーム指導員（1名）

5　指導・相談の概要
(1) 指導内容
　ア　教育相談による支援
　イ　体験学習等による自発性の育成
　ウ　一人一人に応じた登校意欲及び学習意欲の促進
　エ　学習に関する支援
　オ　保護者の方への教育相談及び助言
(2) 指導時間
　・　午前9時15分から正午まで
(3) 面接、教育相談の時間
　・　午後1時から午後3時15分まで
(4) 実施曜日
　月曜日～金曜日（土日、祝日は除く）

6　開設期間
・　平成28年4月1日～平成29年3月31日
（通室は学校の授業日に準じます。）

7　入級手続き
①　お子さん、保護者の方と学校との話し合い
②　フロンティアルーム指導員の面接
③　フロンティアルーム指導員から入室許可の連絡後、入室

8　基本的な一日の流れ

時刻	活　動　内　容
9:15	学習タイム1
10:10	リフレッシュタイム
10:30	学習タイム2
11:30	清　　掃
11:40	振り返りの時間
12:00	
13:00	個別教育相談
15:15	

9　学習内容
(1) 学習タイム
　ア　自分の学力や進路を考えて学習計画を立て、自学自習に取り組みます。
　イ　読書をしたり、奉仕活動やボランティア活動などの体験活動を行います。
(2) リフレッシュタイム
　ア　公園内を散歩をしたり、図書館で本の選書を行ったりします。
※　希望により、教育相談を行います。

10　その他
(1) 所属学校と連携を密にして、指導の効果が上がるように努めます。
(2) 関係機関と連携を図っていきます。
(3) 必要に応じて、保護者の集いを実施します。

川南町生涯学習センター
（トロントロンドーム南側建物3階）

〔連絡先〕
フロンティアルーム（川南町生涯学習センター3階）

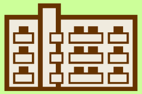
事務局
川南町教育委員会教育課
（川南町生涯学習センター2階）
川南町大字平田2386番地3
電　　話　27－8019
ファックス　27－1028

平成２８年度ふるさと川南の教育「教育課主な施策等」

ふるさと川南を愛し　未来を拓く　心豊かでたくましい　川南の人づくり

教育課

Team Kawaminami

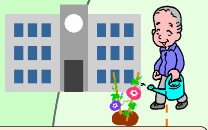


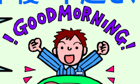
学校教育

社会教育

Ⅰ　町民総ぐるみによる教育の推進

- Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業
- 子ども・学校支援活動、人材バンクの充実
- 学校支援コーディネーター
- 学校関係者評価委員会の開催
- 学校支援ボランティア
- 子育て支援ネットワークの支援
- 家庭教育支援チーム
- 早寝・早起き、朝ご飯
- 読書推進（家読）





Ⅱ　生きる基盤を育む教育の推進

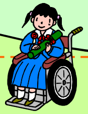
- 就学相談会、教育支援委員会の実施
- ＡＬＴの派遣
- 川南町ニューフロンティア教育研究会の開催
- フロンティアルーム（教育支援教室）の開設
- Team Kawaminami 未来を拓け！輝く子どもの活動フォーラムの開催
- 学校訪問（計画訪問、視察訪問）の実施
- 学校給食　食育の推進

Ⅲ　自立した社会人、職業人を育む教育の推進

- 町歌斉唱、郷土芸能活動の推進
- 三大開拓地交流事業

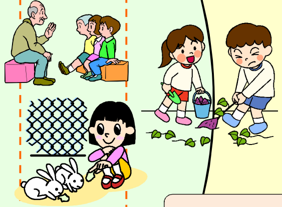
Ⅳ　魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実

- 川南町教育研究所の開設
- 技術員の学校巡回整備
- 教職員教育研究論文の募集
- 川南町育英会の運営
- 介助員の派遣



Ⅴ　生涯を通じて学び挑戦できる社会づくりの推進

- 放課後児童健全育成事業
- 放課後子ども教室コーディネーター
- 放課後等の保育及び子どもの安全・安心な居場所づくり
- 放課後子ども教室推進事業
- 元気っ子サークル
- 高齢者教室の開催
- 社会教育指導員等
- 山茶花ふれあい学園の開催
- 生涯学習講座の開催
- 町民スポーツ祭の開催
- 家庭教育学級の開催
- 川南町の総合型地域スポーツクラブ 川南スポーツ合衆国の設立
- PTA連絡協議会
- 子ども会育成連絡協議会
- ロードレース大会inかわみなみの開催
- 地域婦人連絡協議会
- かわみなみ歌声あふれるまちづくり事業
- 生活学校
- 生涯学習大会（学習発表、作品展示）の開催
- 子どもフェスティバルの開催
- 広報誌の発行
- 文化財、史跡等めぐり



※　川南町教育大綱の確実な推進

会議　・・・ 総合教育会議

事務局 ・・・ 教育委員会　社会教育委員　図書館協議会　文化財保護審議会　文化ホール運営委員会
川南湿原保護委員会　スポーツ推進委員　子育て支援ネットワーク協議会
川南町青少年健全育成協議会　子ども会育成連絡協議会　各種女性団体連絡協議会
川南町体育協会

平成２８年度　川南町小・中学校校長会組織表

役　職　名	所　属　学　校	氏　　　　名	備　　　　考
会　　　　長	㊫ 川　南　小学校	坂　本　　幹　夫	川南町校長会の代表で県校長会出会 川南教育委員会との連絡調整 川南町校長会の運営
副　　会　　長	㊥ 唐瀬原中学校	安　藤　　三紀夫	会長補佐 会長代行（必要に応じて）
書　　　　記	㊫ 東　小　学　校	毛　利　　純　宗	川南町校長会研修会案内文発送 毎月１回定期開催予定 研修会の司会は輪番制
会　　　　計	㊥ 国光原中学校	小　嶋　　雅　史	県校長会納入会費徴収 川南町校長会懇親会世話 慶弔関係

留 意 事 項

1　会長・副会長は、小学校５校，中学校２校の学校数を考慮して決定する。
2　川南町ニューフロンティア世話役は、校長会で決定する。
3　宮崎県校長会納入会費は、毎月会計校長が徴収する。校長会懇親会の企画運営等を行う。
4　平成２８年度の東児湯校長会の割当役職
　・教研連東児湯支会副会長（　毛　利　純　宗　　※東小　）
　・互助会東児湯担当　　　（　毛　利　純　宗　　※東小　）
　・海外事情研東児湯担当　（　原　田　茂　樹　　※通山小）

平成２８年度　川南町小・中学校教頭会組織表

会　　　　長	青野　秀靖（川南小）	研　修　部　長	小野　浩司（国光原中） 西村　浩一郎（東小）
副　　会　　長	根井　　誠（唐瀬原中）	町ＰＴＡ連絡協議会	丸山　　均（通山小）
副　　会　　長	池川　由美　（山本小）	東　児　湯　会　計	能美　廣介（多賀小）
会　　　　計	丸山　　均（通山小）	郡ＰＴＡ連絡協議会	木城町

平成２８年度　川南町　校長会各種委員会組織

委員会名等	氏　名		学　校	備　考
校長会・会長		坂本　幹夫	川南小学校	小学校５校、中学校２校の学校数を考慮して決定する。
校長会・副会長		安藤三紀夫	唐瀬原中学校	
校長会・書記		毛利　純宗	東小学校	町校長会開催文書発送（各月）
校長会・会計		小嶋　雅史	国光原中学校	県校長会、町校長会会費納入等
川南町教育支援委員会		平原　政博	多賀小学校	NF特別支援教育部会との関連
川南町社会教育委員		原田　茂樹	通山小学校	
社会福祉協議会評議委員		坂本　幹夫	川南小学校	会長職を充てる
川南町ＰＴＡ連絡協議会	輪	原田　茂樹	通山小学校	輪番　川南小→通山小→東小→多賀小→山本小→唐中→国中→
川南町教頭会		安藤三紀夫	唐瀬原中学校	副会長職を充てる
青少年健全育成協議会	小	坂本　幹夫	川南小学校	会長･副会長職を充てる 年２回の会議が開催される。
	中	安藤三紀夫	唐瀬原中学校	
人権教育		原田　茂樹	通山小学校	
学校給食協同調理場運営協議会		坂本　幹夫	川南小学校	協同調理場の関係で､川南小固定
川南町こども・子育て審議会		坂本　幹夫	川南小学校	会長職を充てる。
川南町要保護児童対策協議会		坂本　幹夫	川南小学校	会長職を充てる。
学校関係者評価委員会担当校	東小	毛利　純宗	東小学校	輪番制を基本とするが、諸般の事情により、その都度検討する。
	国中	小嶋　雅史	国光原中学校	

平成２８年度　ニューフロンティア教育研究会担当

会長	押川　典道	山本小学校
副会長	坂本　幹夫	川南小学校
総務企画委員会	押川　典道	山本小学校
唐中校区研究会	安藤三紀夫	唐瀬原中学校
国中校区研究会	小嶋　雅史	国光原中学校
知育部会	小嶋　雅史	国光原中学校
徳育部会	安藤三紀夫	唐瀬原中学校
体育部会	平原　政博	多賀小学校

顧問	木村　　誠	町教育委員会教育長

※NF副会長には町会長を充てる。
※各主任会等の理事長には原則として、講師を充てないこととする。

教務主任会	毛利　純宗	東小学校
音楽主任会	押川　典道	山本小学校
図書主任会	坂本　幹夫	川南小学校
養護教諭部会	原田　茂樹	通山小学校
特別支援教育部会	平原　政博	多賀小学校

平成２８年度学校医・学校歯科医及び薬剤師

学　校　名	内科医師	眼科医師	歯科医師	薬剤師
川南小学校	喜多保一郎	蟻塚　高生	濱本　伸治	田ノ上一郎
通山小学校	糸井　　仁			長船　克彦
東小学校				田ノ上一郎
多賀小学校	喜多保一郎			長船　克彦
山本小学校				田ノ上一郎
唐瀬原中学校	糸井　　仁		三浦　誠志	田ノ上一郎
国光原中学校				長船　克彦

喜多保一郎　電話２７－１７１１　川南町大字平田２３８０
糸井　　仁　電話２７－００３２　川南町大字平田１８８８
濱本　伸治　電話２７－４８６０　川南町大字平田２３７２－３０
三浦　誠志　電話２７－６４７３　川南町大字川南１３５９３－１（まこと歯科）
蟻塚　高生　電話２３－２３１６　高鍋町大字北高鍋７８５
田ノ上一郎　電話２７－００５５　川南町大字川南１３６７５－６４
長船　克彦　電話２７－０１７０　川南町大字平田２３８０－９

※　カウンセラー
高野美智子　☎４２－３７１１　西都市御船町１－７８（鶴田病院）
（唐中・国中　月２回　ＦＡＸ ４２－１１４８）

平成２８年度　教育課事務分掌表

課長　大塚　祥一

事務内容	主務者	副主務者
1　学校の組織及び編制に関すること。 2　学校の教育課程及び学習指導に関すること。 3　教育行政に関する苦情及び相談に関すること。 4　県と学校との連絡調整に関すること。 5　学校以外の教育機関の組織に関すること。	教育対策監 根之木　茂	
1　条例、規則その他例規に関すること。 2　教育委員会の会議に関すること。 3　教育委員会関係の叙位、叙勲及び褒章に関すること。 4　教育委員会の評価に関すること。 5　教育委員会と各課等との連絡調整に関すること。 6　他市町村の教育委員会との連絡調整に関すること。 7　文化ホール・図書館の指定管理に関すること。 8　職員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること。 9　教職員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること。	課長補佐 岩切　拓也	課長補佐 稲田　隆志

学校教育係

1　就学相談に関すること。 2　教育支援委員会に関すること。 3　学校関係者評価委員会に関すること。 4　学校訪問に関すること。 5　学校事務共同実施に関すること。 6　学校行事の報告に関すること。	係長 佐坂　尋則	主事 新藤　莉奈
1　通学区域に関すること。 2　区域外就学に関すること。 3　学校関係の統計及び調査に関すること。 4　児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関すること。 5　就学援助に関すること。 6　児童生徒及び教職員の健康管理に関すること。 7　教科書その他教材に関すること。 8　育英会事業に関すること。	主事 新藤　莉奈	係長 佐坂　尋則

教育施設係

1　調理場を除く教育財産の管理運営に関すること。 2　調理場を除く教育財産の取得又は処分に関すること。 3　教育財産台帳に関すること。	係長 佐藤　和俊	主査 堀内　　剛
1　調理場を除く教育施設に係る工事又は委託の入札及び契約に関すること。 2　調理場を除く教育施設の利用に関すること。	主査 堀内　　剛	係長 佐藤　和俊
1　学校環境整備に関すること。 2　農村環境改善センターの整備に関すること。 3　スポーツ施設の整備に関すること。 4　公園及び農村公園の整備に関すること。 5　その他教育委員会所管の財産の整備に関すること。	専門技術員 竹田　秀光 久保田敏和 主任技術員 田原　憲浩	係長 佐藤　和俊 主査 堀内　　剛

学校給食共同調理場

事務内容	主務者	副主務者
1　学校給食に関すること。 2　学校給食共同調理場の施設設備の管理に関すること。 3　学校給食共同調理場全般の運営に関すること。 4　学校給食共同調理場運営協議会に関すること。 5　学校給食会に関すること。 6　その他学校給食事務に関すること。	所長 石井　美貴	栄養教諭
1　学校給食の献立作成及び栄養管理に関すること。 2　学校給食の調理に関すること。 3　学校給食における食に関する指導助言及び啓発に関すること。	栄養教諭	所長 石井　美貴

生涯学習係

1　社会教育委員に関すること。 2　社会教育団体に関すること。 3　成人教育に関すること。 4　その他社会教育に関すること。 5　学校支援地域本部事業（人材バンク）に関すること。	補佐兼係長 稲田　隆志	主査 橋口　真一 主査 河野　麻美
1　青少年教育に関すること。 2　各種講座の開設及び学習機会の提供並びに講演会及び展示会の開催に関すること。 3　三大開拓地交流事業に関すること。	主査 橋口　真一	補佐兼係長 稲田　隆志 主査 河野　麻美
1　高齢者教育に関すること。 2　放課後子ども教室に関すること。 3　放課後児童健全育成事業に関すること。	主査 河野　麻美	補佐兼係長 稲田　隆志 主査 橋口　真一

文化スポーツ係

1　スポーツの普及促進に関すること。 2　文化財保護審議会に関すること。 3　文化財の調査、研究及び発掘に関すること。 4　文化財の活用並びに保護及び維持管理に関すること。	係長 中村　正樹	主任主事 嶽　　裕一 主任主事 林田　勝恵
1　スポーツ施設の利用促進に関すること。 2　スポーツ少年団に関すること。 3　総合型地域スポーツクラブに関すること。 4　スポーツ推進委員に関すること。 5　体育協会に関すること。	主任主事 嶽　　裕一	係長 中村　正樹 主任主事 林田　勝恵
1　文化振興計画に関すること。 2　文化団体の育成指導に関すること。 3　読書普及推進活動に関すること。	主任主事 林田　勝恵	係長 中村　正樹 主任主事 嶽　　裕一

学校経営方針概要及び職員配置

川南小学校

通山小学校

東小学校

多賀小学校

山本小学校

唐瀬原中学校

国光原中学校

川南町教育委員会

平成・・年度　子ども一人一人の想いや願いを大切にした

川南小ならではの教育　・・つの視点・

教　育　目　標

全力一心　「自ら学び，心豊かに，やさしく，かしこく，たくましく生きる児童の育成」

目指す児童像　○ やさしく【徳】　○ かしこく【知】　○ たくましく【体】

[学校経営ビジョン]

小学校６年間を通して「自分に誇りを，友に誇りを，学校・地域に誇りをもつ子どもたち」の育成を図り，地域に信頼される学校を創造する。
☆自分に誇りを　　　・・・自分のために学び続ける，自尊感情・自己肯定感の高い子どもたち
☆友に誇りを　　　　・・・友のために学び合う，豊かな心や思いやりのある子どもたち
☆学校・地域に誇りを・・・学んだことを学校や地域に生かす，実践力のある子どもたち

【求められる教職員像】

○ **愛情と情熱・使命感**…子どもに対する愛情と教育に対する情熱・使命感をもち，子どもとの信頼関係を築くことができること。
○ **高い専門性**…わかりやすい授業を行い，子どもに確かな学力を育成するなど，高い専門性を身に付けていること。
○ **幅広い社会性，倫理観，人間性**…社会人として幅広い教養と良識や倫理観を身に付けていること。
○ **マネジメント力**…学校組織を運営する高いマネジメント力を発揮できること。
○ **学び続ける姿勢**…絶えず学び続け，自らの資質能力を高めること。

重　点　目　標	目標達成のための手段
1　**生涯学習の基礎を培う，「学びづくり」** 縦の接続と横の連携を重視し，児童の個性や能力を引き出し，鍛え，伸ばし，見届ける教育を推進する。	①　授業力向上を図る研修の充実とキャリア教育の充実 ・授業研究（教師一人一授業）を核としたＯＪＴの推進 ・学力調査の分析を生かしたＰＤＣＡサイクルによる学習指導の充実（川小「学力向上虎の巻」の作成） ・自立した社会人，職業人を育む教育の充実（ハローワーク週間の設定） ②　基礎的・基本的な内容の確実な定着 ・「がってんタイム（国語・算数）」の計画的な運用と評価 ・家庭と連携した学習指導の充実（家庭学習の手引きの活用） ・単元テスト８０％以上の定着とＣＲＴ調査の全国平均達成 ③　読書指導の充実 ・読書への興味関心を高める工夫（おすすめの本，読書ビンゴ，平行読書の導入等） ・読書習慣の定着（朝の読書，地域や児童相互の読み聞かせ等） ・ファミリー読書の推進（ファミリー読書カード・読み声カードの活用，町立図書館との連携等）
2　**相手を思いやり行動できる，豊かな「心づくり」** 基本的な生活習慣の確立と共感による児童理解を基に，心豊かで自ら考え，判断し，行動できる自己指導能力の育成を図る。	①　生徒指導の三機能(自己存在感，共感的な人間関係，自己決定の場)を生かした教育活動の充実 ・教育相談アンケート（毎月）によるいじめの早期発見と解決 ・えがお推進委員会（毎月）による児童理解と共通実践 ②　教児同行「共汗・協働」の推進 ・奉仕活動やボランティア活動の推進（ＪＲＣ態度目標の実践） ・あいさつ運動の推進・充実（毎週火曜日あいさつ運動の日の設定） ・縦割り清掃班による無言清掃の徹底 ③　人権に配慮した教育の推進・充実 ・道徳の授業の充実と地域への授業の公開（１２月） ・人権教育研修の充実（年３回）と教職員の人権感覚の高揚
3　**生涯スポーツの基礎を培う，心身ともに健やかな「体づくり」** 運動に親しむ態度や体力の向上を図るとともに，保健指導や食に関する指導（食育）を充実し，健康安全意識の高揚を図る。	①　体育科授業の充実 ・体力向上プランに基づく個や集団に応じた体力づくり ・体力向上週間の計画的な実践と評価(持久走や縄跳び運動) ②　保健指導と食に関する指導の充実 ・「早寝，早起き，朝ご飯」の実践と生活習慣の確立 ・「みやざきスーパー食育スクール事業」の充実 ③　安全教育の徹底 ・危機管理マニュアルの見直しと職員研修の充実 ・校内外の安全点検と防災教育の充実
4　**児童一人一人の教育的ニーズを把握し，その可能性を最大限に伸ばす，特別支援教育の充実**	①　通常学級及び居住地校との交流や体験活動の充実 ②　特別支援教育の研修の充実 ③　ことばの教室の充実（川南町地区・都農町地区） ④　幼保小連携と小中連携の推進，就学前の幼児理解と関係機関との連携・充実
5　**学校･家庭･地域と一体となった，「信頼される学校づくり」** 地域の実態や特性を生かし，地域の学校として，子どもたちを共に育てるための環境づくりに努める。	①　学校参観日，学級懇談会，家庭教育学級等の充実，自治公民館との連携による開かれた学校づくりの推進・充実 ②　積極的な情報の発信（学校だより等）と受信，学校関係者評価による学校経営の改善　※ホームページの計画的な発信 ③　地域の物的，人的教育資源の有効活用，学校支援コーディネーターとの連携による学びのネットワークづくり事業の充実

[川南町教育基本方針]

ふるさと川南を愛し，未来を拓く　心豊かでたくましい　川南の人づくり

川南小学校職員名簿

No	職　名	氏　名	学年等	主　任　等		校務分掌
1	校　長	坂本幹夫				
2	教　頭	青野秀靖		総務		
3	主幹教諭	六車　哲雄	理科専科3年	教務主任	教育課程全般　小中連携　地域連携担当	教務部
4	教　諭	石井和代	1年1組	学年主任	学力向上推進担当　学力調査･分析国語主任	研究部
5	教　諭	千頭美子	1年2組	保健主事	保健体育全般　幼保小連携	保体安全部
6	教　諭	長尾　富美子	1年3組		授業力向上、教師一授業、書写主任	研究部
7	教　諭	吉野　洋子	2年1組	学年主任	教育相談　いじめ･不登校対策　特別活動主任	生徒指導部
8	講　師	河野琴美	2年2組		家庭学習、読書指導	学習指導部
9	教　諭	堀　順子	2年3組		安全教育　安全点検　算数主任	保体安全部
10	教　諭	横尾　由紀子	3年1組	学年主任	学習環境　掲示教育　作品募集　図工主任	学習指導部
11	講　師	倉永友美	3年2組		作品、家庭学習、金銭教育	学習指導部
12	教　諭	寺尾　佳恵	4年1組	学年主任	情報･視聴覚教育、音楽･福祉教育主任	学習指導部
13	教　諭	川﨑博道	4年2組		体育指導･体力向上　体育主任	保体安全部
14	教　諭	日高　鶴世	4年3組	学習指導部長	学習全般、社会科主任	学習指導部
15	教　諭	有𠮷弥生	5年1組	学年主任	児童会　家庭科主任	生徒指導部
16	教　諭	𠮷行真人	5年2組	研究主任	教育全般･主題研究　道徳主任道徳教育推進教師	研究部
17	教　諭	松尾綾子	6年1組	学年主任、図書司書	外国語、読書指導、図書館教育･管理	生徒指導部
18	教　諭	山本和則	6年2組	生徒指導主事	生徒指導全般　キャリア教育	生徒指導部
19	教　諭	酒井幸恵	ひまわり	特別支援教育コーディネーター	特別支援教育　防災教育	保体安全部
20	教　諭 講　師	藤本昌子 (今井典子)	たんぽぽ1		交通安全･交通教室	生徒指導部
21	教　諭	江藤美穂	たんぽぽ2	特別支援教育コーディネーター	校内生活指導　清掃　環境･ボランティア教育	生徒指導部
22	教　諭	須賀田　和子	ことばの教室		学籍･教科書　人権教育	教務部
23	再任用	西村和豊	理科専科4～6年		環境美化･栽培　視聴覚機器　理科主任	生徒指導部
24	養護教諭	永友清美	保健室経営		保健　衛生　統計　健康教育	保体安全部
25	栄養教諭	田中佳子	共同調理場在勤		給食･食育指導　給食主任	保体安全部
26	事務主幹	川村和也	学校事務	事務主任	事務全般　安全点検	事務部
27	講　師	郡　美智子	算数少人数		5･6年算数指導　Web活用推進	6学年所属
28	講　師	中川　由美子	音楽専科3～6年		主幹教諭マネジメント	4学年所属
29	技　師	日高智美	共同調理場在勤		給食･食育指導　学校栄養職員	保体安全部
30	主　事	中村洋子	学校事務		事務全般	事務部
31	介助員	内山田　隆一			たんぽぽ1学級及び通常学級支援	1学年所属
32	介助員	椎木　由香里			たんぽぽ1学級及び通常学級支援	3学年所属
33	介助員	黒木　富美子			ひまわり学級及び通常学級支援	2学年所属
34	介助員	宇田津　眞理			たんぽぽ2学級及び通常学級支援	4学年所属
35	町事務	鴨田智子			給食費　町費　地域連携ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　体育館借用等事務	事務部
36	P事務	髙岡　眞貴子			PTA関係庶務全般　図書館業務補助	事務部

平成２８年度　通山小学校の教育

平成２８年度　ふるさと川南の教育
～ふるさと川南を愛し　未来を拓く　心豊かでたくましい　川南の人づくり～

宮崎県教育基本方針

第二次宮崎県教育振興基本計画

学校の教育目標
◎　心身ともにたくましく、自ら学び続ける力をもった児童を育成する

めざす児童像	めざす学校像	めざす教師像
○　自ら学び、深く考える子 ○　思いやりがあり、礼儀正しい子 ○　体をきたえ、元気な子	○　知性を磨き、伸ばす学校（力いっぱい） ○　思いやりと笑顔のあふれる学校（やさしさいっぱい） ○　明るく活力に満ちた学校（元気いっぱい）	○　自ら学び、創意工夫して指導の充実を図る教師 ○　子どもに寄り添い、一人一人を伸ばす教師 ○　家庭や地域と連携を図り、進んで実践する教師

学校経営ビジョン
ふるさと川南を愛し、心身のたくましさを兼ね備えた児童を育成するため、「かかわり」と「見届け」を大切にし、当たり前のことを当たり前にできる教育を実践する。

確かな学力（頭をきたえる）	豊かな心（心をきたえる）	健やかな体（体をきたえる）
◎　基礎学力の定着・向上 ○　「問い」を大切にし、積極的に考え、表現できる授業の工夫 ・　「めあて」と「まとめ」を明確にした授業の実践 ・　個の力を高める学び合いの場の工夫（問う・考える・描く） ○　確かな「見届け」の実施 ・　「学びの時間」「たしかめの時間」の活用 ・　「家庭学習の手引き」を活用した振り返りの強化 ○　教職員の研修の充実 ・　職員間ＯＪＴの推進（見合う・教え合う・磨き合う） ・　研修報告の活用	◎　自他を大切にする心と態度の育成 ○　心のこもったあいさつの実践 ・　日本一流を目指した取組の工夫（あいさつ・返事・笑顔） ・　家庭・地域と連携した取組の工夫 ○　自己肯定感・自尊感情を高める取組の実施 ・　児童との信頼関係を重視した学級づくり ・　児童の活躍の場づくり	◎　基礎体力の向上と望ましい生活習慣の確立 ○　運動の習慣化 ・　朝の「さわやか運動」の効果的実施 ・　外遊びの励行 ○　体育学習における活動の工夫 ・　体力テスト結果分析を生かした活動の工夫 ・　運動施設の効果的活用 ○　望ましい生活習慣の定着化 ・　体力向上プランに基づく計画的実践 ・　家庭と連携した「早寝・早起き・朝ご飯」の実践 ・　立腰指導の徹底

開かれた学校づくり
◎　学校と家庭・地域が一体となって取り組む教育の推進
- ○　地域の教育資源の有効活用
  - ・　地域人材・素材を活用した学習の展開
  - ・　学校支援地域本部事業の活用（学校支援コーディネーターとの連携推進）
  - ・　自治公民館と連携した活動の推進
- ○　キャリア教育を意識した教育活動の実践
  - ・　地元企業、県立農業大学校と連携した授業の開発・実践
- ○　積極的な情報発信・情報交換
  - ・　ホームページの積極的更新、学校だよりの定期的発行
  - ・　学校・民生委員連絡会の活用
  - ・　学校関係者評価を活用した学校運営の改善

⇩

安心して通える学校　気持ちが通い合う学校　将来に通じる教育

幼・保・小・中連携　　　関係機関との連携

通山小学校　職員名簿

	職　名	氏　　名	担任等	主任・校務分掌等
1	校　長	原田　茂樹		
2	教　頭	丸山　　均		総務、衛生推進者
3	教　諭	冨田　克也	理科専科、4・5年書写	教務主任、地域連携担当、環境教育担当、情報教育主任、理科主任、外国語活動主任、教育課程推進部
4	教　諭	芥田　美由紀	１年１組	保健主事、体育主任、健康づくり推進部
5	教　諭	廣田　桂子	２年１組	生徒指導主事、生活科主任、心の教育推進部
6	教　諭	壹岐　乃理子	３年１組	図書主任、国語主任、学力向上推進部
7	教　諭	中山　修子	４年１組	研究主任、特別活動主任、学力向上推進部
8	教　諭	橋本　和子	５年１組	人権教育担当、社会科主任、家庭科主任、心の教育推進部
9	教　諭	堤　　誉子	６年１組	道徳主任、図画工作主任、道徳教育推進教師、教育課程推進部
10	教　諭	内田　律夫	ひまわり学級（知的）	特別支援教育コーディネーター、書写主任、心の教育推進部
11	講　師	福田　恭子	たんぽぽ学級（情緒）	音楽主任、健康づくり推進部
12	教　諭	河野　真一郎	算数少人数	学力向上推進担当リーダー、算数主任、総合的な学習の時間主任、学力向上推進部
13	養護助教諭	川越　一美	保健室	給食主任、健康づくり推進部
14	事務主査	齋藤　俊一郎	事務室	事務主任
15	町事務	田中　聖枝	事務室	事務、地域連携コーディネーター
16	非常勤講師	茂又　香織	２年弾力化	２年１組
17	介助員	上園　久美子		特別支援学級等
18	介助員	押川　まゆみ		特別支援学級等

平成２８年度　川南町立　東小学校　学校経営の構想

本校の教育目標
すぐれた知性と豊かな心をもち心身ともにたくましく実践力のある児童の育成

目指す学校像	目指す児童像	目指す教師像
○知性を磨き伸ばす学校 ○礼を正し規律ある学校 ○明るく落ち着きのある学校	○　進んで学びよく考える子 ○　思いやりのある子 ○　明るく健康でやりぬく子	○子どもの能力を伸ばす教師 ○授業の改善に努める教師 ○努力を惜しまない教師

学校経営の基本方針

児童の個性や人間性を尊重しながら、変動する社会の中でたくましく生き抜くために必要となる基礎・基本を身に付けさせるために、児童一人一人の能力を確実に伸ばす教育を教職員一丸となって進めていく。

学校経営ビジョン

教育的スローガンを「継承と進化」とし、職員一人一人が、それぞれの立場（役職、係）で、東小の子どもにとってよいと思われる「攻めの教育」と「見届けの教育」を展開していくなかで、「知」「徳」「体」の調和の取れた児童の育成を図るとともに、学校と家庭・地域との連携を通して「開かれた学校」づくりに努める。

課題解決のための組織的取組

承認・称賛・激励

知

・基礎・基本の確かな定着
・望ましい学習習慣の育成

①　学校生活アンケート調査において、「学校で一生懸命に勉強に取り組む」と答える児童の平均得点が、3.50 になるようにします。
（昨年度末 3.47）
②　習熟度に応じた個別指導やスキルタイムの充実に努め、基礎･基本の確実な定着のもと、CRT テストでは、全学年全国平均を上回るようにします。
③　家庭生活アンケート調査において、「決められた時間学習しています」と答える児童の平均得点が 3.40 になるようにします。
（昨年度末 3.36）

徳

・思いやりのある心の育成
・基本的な生活習慣の定着

①　道徳の授業の充実を図り、見逃さない･見捨てない･諦めない指導に徹し、素直で思いやりのある心の育成に努めます。
②　学校生活アンケート調査において「進んであいさつする」と答える児童の平均得点が 3.45 になるようにします。
（昨年度末 3.40）
③　学校生活アンケート調査において「学校が楽しい」と答える児童の平均得点が 3.50 になるようにします。
（昨年度末 3.47）

体

・基礎体力の向上
・健康増進と食育の推進

①　東っ子運動の実践など運動の日常化を図り、新体力テストにおいて、5 %水準で県平均値を下回る種目がないことを目指します。
②　学校生活アンケート調査において「早ね早起き朝ごはんをしている」と答える　児童の平均得点が 3.40 になるようにします。
（昨年度末 3.29）
③　計画的に、児童の健康増進への意識を高める健康教育に取り組むとともに、むし歯治療率が 80 %以上になることを目指します。
（昨年度末 80 %）

家庭･地域社会との連携

○　学校参観日や行事への参加を地域住民に呼びかけ、学校便りや学校ホームページによる積極的な教育活動の情報発信により、開かれた学校を目指します。
○　家庭･地域社会とが一体となった教育活動の展開として、家庭や金鈴学園との密な連繋を図ると共に地域ボランティアや高齢者との積極的な交流を推進します。

川南町教育基本方針　ふるさと川南を愛し、未来を拓く心豊かでたくましい川南の人づくり

県の基本方針　　未来を切り拓く　心豊かでたくましい　　宮崎の人づくり

平成２８年度職員名簿（川南町立東小学校）

番号	職　名	氏　　名	担当学年等	主任・担当及び主な校務分掌等
1	校　長	毛利　純宗		
2	教　頭	西村 浩一郎		総務　ＰＴＡ事務局
3	教　諭	黒木 しおり	1年担任	安全教育　生活科
4	教　諭	吉野 千賀子	２年担任	環境教育　図画工作科　道徳
5	教　諭	鬼塚　　淳	３年担任	教務主任　地域連携担当　小中連携推進　社会科
6	教　諭	楠本　将夫	４年担任	研究主任　体育主任　特別活動
7	教　諭	永友 亜希恵	５年担任	キャリア教育　家庭科　外国語活動
8	教　諭	関　　智美	６年担任	図書館教育　国語科　書写
9	教　諭	大出水 光次	特別支援学級	生徒指導主事　特別支援教育コーディネーター　福祉・ボランティア教育　人権同和教育　算数科　総合的な学習の時間
１０	講　師	長友　萌花	専科 （理科・音楽科）	情報教育　Web 学習
１１	養護教諭	柊山　真由	養護教諭	保健主事　給食主任
１２	主　事	兒玉　弘美	事務主事	庶務全般
１３	町学校事務	大矢根 悦子	事務補助	給食事務　ＰＴＡ会計補助　地域連携コーディネーター
１４	町介助員	米田　洋子		

平成２８年度　川南町立多賀小学校　学校経営計画

学校の教育目標

博愛と開拓の精神を基調として、豊かな心、確かな学力、たくましい体をそなえ、力強く生きる児童の育成

- 法令、法規等
- 第二次宮崎県教育振興計画
- 川南町教育大綱（町教育振興基本計画）

めざす学校像

○　あいさついっぱいの学校
○　落ち着きのある学校
○　家庭や地域から信頼される学校

- 児童の実態
- 保護者や地域の願い
- 時代や社会の要請

めざす児童像

やさしい子	かしこい子	たくましい子
○　自分から進んであいさつができる子ども ○　思いやりのある言葉遣いができる子ども ○　身の回りの整理整頓や片付けのできる子ども	○　学び方を身に付け、自分ら進んで学習する子ども ○　自分の考えをもち、積極的に発言したり行動したりできる子ども ○　復習や予習など家庭学習に自分から進んで取り組む子ども	○　自他の生命を大切にできる子ども ○　運動に親しみ基礎体力を身に付けた子ども ○　規則正しい生活リズムで生活ができる子ども

学校の基本方針

努力事項　一人一人の児童をよく見つめ、よさや可能性を引き出し、最大限に伸ばす。

○　児童一人一人を見つめ、児童を中心にすえた経営に努める。
○　教育は蓄積であり、毎日毎時の教育活動に全力をつくす。
○　職員一人一人の特性を大切にし、全員参加の経営に努める。
○　地域や保護者との連携を図り、信頼と期待に応える経営に努める。
○　地域に根ざした特色ある学校づくりを推進する。

学校経営ビジョン

「Chance、Challenge、Change」を合い言葉に多賀小ならではの教育を行うことをとおして、知、徳、体のバランスのとれた、自己実現のできる児童を育成し、信頼される学校づくりを目指す。

次のことに努力･実践いたします。

知

1　授業力を高め、45分の授業で勝負する。
2　スキルタイムの工夫改善を行い、基礎・基本の定着を図る。
3　授業や日常の活動の中で活用する力を高め、思考力や表現力を高める。
4　全国学力学習状況調査、みやざき小中学習状況調査の自校採点を行い、個に応じた対策を早めに講じる。
5　「かしこさ週間」を設定して話を聞く態度等の育成を図り、学習習慣を身に付けさせる。
6　「家庭学習の手引き」の効果的な活用方法を検討し、家庭と連携して取り組むと共に、宿題等の提出率100%を目指す。

徳

1　自己存在感や共感的な人間関係の醸成を図り，明るい雰囲気の学級づくりに力を注ぐ。
2　人権教育の充実を図り自己理解を深め、自尊感情を育てる。
3　児童の悩みや心配事の相談活動を充実させ、楽しい学校生活が送れるようにする。
4　「やさしさ週間」を設定し基本的な生活習慣の徹底を図る。
○　あいさつ　　○　言葉遣い
○　廊下歩行　　○　整理整頓
5　青少年赤十字活動の充実に努め、進んで人のために尽くそうとする意欲や実践力を高める。
6　読書に対する興味・関心を高め豊かな心を育む。

体

1　集団登下校時の安全指導や交通安全教室での指導、廊下歩行指導等をとおして、交通安全の意識を高める。
2　避難訓練を計画的に進め、防災教育の充実に努める。
3　「体力向上プラン」を見直し重点化を図りながら実践する。
4　体育や朝の体力アップの時間の充実及び外遊びの推進により基礎体力の向上を目指す。
5　「身だしなみチェック週間」を設定して、規則正しい生活リズムを身に付けさせる。
6　「みやざきスーパー食育スクール事業」「弁当の日」「食育だより」等の活動をとおして食に関する実践力を高める。

1　通山小学校や国光原中学校と連携し、小中一貫教育の推進に努める。
2　十文字保育園との交流活動をとおして連携をさらに推進する。

家庭･地域との連携

○　「家庭学習の手引き」「身だしなみチェック表」等を参考に、各家庭に応じた取組をお願いする。
◎　早寝・早起き　　◎　朝ごはん　　◎　睡眠　　◎　家庭学習の習慣　　◎　家読
○　おやじ学級や長寿会、GBAの方など地域の方々の協力をいただきながら、学校と家庭、地域が一体となった多賀小ならではの特色ある教育の推進に努める。
○　学校だより、時計台等の発行、ホームページの更新、学校評価の結果公表などをとおして、開かれた学校づくりに努める。

平成28年度　職員名簿

川南町立多賀小学校

NO	職名	氏　名	学年等	各主任及び担当等	教科等主任	校務分掌
1	校　長	平原　政博				
2	教　頭	能美　廣介		・コンプライアンスリーダー ・PTA活動渉外関係全般		
3	教　諭	稲田千穂子	1年	・保健主事 ・かしこさ部長	国語 書写	たくましさ推進部
4	講　師	寺村　智代	2年	・図書館教育	生活	かしこさ推進部
5	教　諭	長友里津子	3年	・体育主任 ・福祉教育	体育 総合	たくましさ推進部
6	教　諭	益田やよい	4年	・かしこさ部長 ・学力向上対策	音楽	かしこさ推進部
7	教　諭	原田味津江	5年	・生徒指導主事 ・キャリア教育	社会 特活	やさしさ推進部
8	教　諭	石井　真人	6年	・研究主任 ・国際理解教育	算数 外国語	かしこさ推進部
9	教　諭	長友千恵子	2組（知）	・人権教育	図工 家庭	やさしさ推進部
10	教　諭	髙見　文子	3組（情）	・幼保小連携　・特別支援コーディネーター ・道徳教育推進	道徳	やさしさ推進部
11	教　諭	古賀　潤一	理科専科	・教務主任　・地域連携担当 ・小中連携　・情報教育 ・環境教育	理科	教務部
12	養護教諭	吉田　香菜		・給食（食育）主任 ・衛生管理推進者		たくましさ推進部
13	主任主事	押川　幸光		・事務全般　・ＰＴＡ会計		事務部
14	町介助員	竹下　律子		・児童の介助及び支援		
15	町事務員	内尾　和恵		・給食事務　・文書発送 ・会計事務　・地域連携コーディネーター		事務部

平成２８年度　川南町立山本小学校経営ビジョン

宮崎県教育基本方針「たくましいからだ　豊かな心　すぐれた知性」
スローガン「未来を切り拓く　心豊かでたくましい　宮崎の人づくり」

ふるさと川南町の教育
～ふるさと川南を愛し　未来を拓く　心豊かでたくましい　川南の人づくり～

本　校　の　教　育　目　標

『心身ともに健康で、自ら考え、進んで実践できる児童の育成』

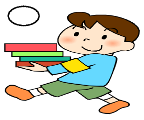
《めざす学校像》	《めざす児童像》	《めざす教師像》
○明るく活気あふれる学校 ○きまりを守り落ち着きのある学校 ○うるおいのある美しい学校	○落ち着いてねばり強く考える子 ○礼儀正しく思いやりのある子 ○明るくたくましい子	○使命感と責任感のある教師 ○一人一人の児童をよく理解し長所を伸ばす教師 ○研修に励み創意工夫し実践を重んじる教師

山本小学校

学ばせて よかった

保護者

学んで よかった



児童

この地区に あってよかった

地域住民

美しい言葉で高め合う児童

「やる気　いっぱい」	「やさしさ　いっぱい」	「元気　いっぱい」
確かな学力の向上 （知育）	豊かな心の育成 （徳育）	健やかな体の育成 （体育・食育）
1　もっと楽しく、もっと分かる授業を展開する。 ○ＩＣＴ活用の推進 ○基礎的・基本的内容の定着 ・単元テスト80％達成 ・Ｗｅｂ評価ｼｽﾃﾑ100％実施 ・学習技能の定着 ・個に応じた指導と見届けの徹底、がってんタイム充実 **2　表現力の向上を図る。** ○発表の場の設定や積極的な作品応募 **3　読書活動を推進する。** ○読書量目標（１・２年～100冊、１～６年50冊）の達成 ○読み声、読み聞かせ、家読の推進 **4　家庭学習の習慣化を図る。** ○家庭学習の手引き取組 ○自主学習の推進 **5　キャリア教育の推進** ○年間指導計画の整備 ○体験的活動の体系的実施	**1　人権教育の充実・推進を図る。** ○自尊感情や自己肯定感を高める学級経営 **2　特別支援教育体制の整備・充実を図る。** ○特別支援教育コーディネーターを中心とした体制の整備と関係機関との連携 ○全職員による実態把握と共通指導 **3　生命尊重や思いやりの心、郷土愛を育成する。** ○道徳の時間、学級活動の時間のにおける重点指導 ○参観日における道徳授業の実施 ○地域のもの、こと、人を活用した体験活動の推進 **4　山本小当たり前のこと３箇条の徹底を図る。** □元気の良い挨拶をする。 □名前を呼ばれたら「はいっ」という返事をする。 □履き物を並べる。	**1　基礎体力・運動技能の向上を図る。** ○体育の時間の指導法の工夫（運動量確保等） ○立腰指導の徹底 ○昼休み時間の遊びの推進 **2　安全意識、危険回避能力の育成を図る。** ○各種の避難訓練の実施とマニュアルの見直し ○人、車、火、水、金についての具体的指導の実施 **3　安全で安心な教育環境の整備・充実を図る。** ○教師と子どもの目線による安全点検 **4　健康的な生活習慣の定着を図る。** ○養護教諭とのＴＴ授業による保健指導 ○早寝、早起き、朝ご飯の推進 ○望ましい食習慣の確立 ○弁当の日の実施

地域に根ざした学校づくり（地域との連携）

1　唐瀬原中学校区（山本小・川南小・東小・唐瀬原中）及び石井記念川南保育園との連携を推進する。
・ＮＦ教育研究会の充実
・保小連携による読み聞かせや交流活動等の推進

2　学校と家庭・地域との連携融合による教育活動を行う。
・地域行事への参加
・学校田での栽培

3　家庭・地域との連携による健全育成体制の充実を図る。
・自治公民館との連携

平成２８年度　職員名簿

川南町立山本小学校

NO.	職　　名	氏　　名	担当学年	主　　任　　等	校　務　分　掌
1	校　　長	押川　典道			
2	教　　頭	池川　由美		コンプライアンスリーダー 、衛生推進者	
3	教　　諭	則松　孝子	１年１組	生活、図工、防災教育、安全教育	健康づくり推進部長
4	教　　諭	金丸　里美	２年１組	生徒指導主事、算数、道徳、道徳教育推進教師、青少年赤十字	心の教育推進部長
5	教　　諭	磯永ゆかり	３年１組 ４年１組	研究主任、国語・書写、総合的な学習の時間、図書館教育、	学力向上推進部長
6	常勤講師	後藤　孝治	５年１組	体育、家庭	健康づくり推進部
7	教　　諭	東　　篤志	６年１組	教務主任、音楽、外国語活動、国際理解教育、地域連携、保小中連携、キャリア教育	教務部
8	教　　諭	篠原　裕人	６年２組	特別支援教育コーディネーター、社会、特活、人権教育、環境教育	心の教育推進部
9	教　　諭	黒木　義惠	理科専科	理科、情報・視聴覚教育、掲示教育、作品募集、HP担当	学力向上推進部
１０	非常勤講師	太田　百香	４年１組	複式授業解消のための教科指導	学力向上推進部
１１	養護教諭	木下ほなみ		保健主事 健康教育 給食主任	健康づくり推進部
１２	主　　事	宮田とき子		事務主任	事務部
１３	町学校事務	内尾　和恵		学校事務補助、地域連携コーディネーター	事務部 多賀小との兼務

平成２８年度　川南町立唐瀬原中学校経営の基本構想

県の基本方針　未来を切り拓く　心豊かでたくましい　宮崎の人づくり

川南町基本方針　ふるさと川南を愛し、未来を拓く　心豊かでたくましい　川南の人づくり

優れた知性　豊かな心　たくましい体

学校の教育目標

心豊かで　たくましく　意欲的に学ぶ　生徒の育成

めざす生徒像　賢い人　温かい人　強い人

めざす学校像
美しく整備された、静かな学校
気づき、考え、実践する学校
活気に満ちた、秩序正しい学校

めざす教師像
豊かな人間性と教育愛に満ちた教師
使命感にあふれ、自己研鑽に励む教師
生徒とともに成長し、心のふれあいを求める教師

教務部

1　教育課程の完全実施
- 生きる力を身に付けさせるための諸計画
- 授業時数の確保等教育課程の管理

2　キャリア教育の推進
- 学校支援ボランティアの積極的活用
- 全体計画、３か年を見通したプログラム

3　特色ある教育課程の編成・実施
- 学校経営ビジョンの具現化
- 教育課程の編成・実施・評価

学習指導部
［学力の向上］

1 授業力の向上
- わかる授業、考えさせる授業、楽しい授業づくりの充実
- 授業研究の充実
- 思考力、表現力の育成
- 計画的、継続的な学習習慣の形成
- 生徒指導の３機能を生かした授業

2 家庭学習の充実
- 家庭での学習習慣の形成
- 学習の手引きの作成と活用

3 個別指導の充実
- 基礎的・基本的内容の定着度把握と個別指導の充実
- 習熟度別少人数指導の充実
- Web学習単元評価システムの活用
- 特別支援教育の充実

4 学力向上関連の事項の充実
- 検定試験の推進
- 読書活動の充実
  （読み聞かせボランティアの活用）

生徒指導部
［豊かな人間性や社会性の育成］

1　基本的な生活習慣や規範意識の向上
- 身だしなみや時と場に応じた適切な言動の指導の充実
- 時間やきまりを守る指導の充実
- 大きな声での返事などはっきり発言させる指導の徹底

2　生徒指導の３機能を生かした指導の充実
3　キャリア教育の計画的な推進
4　望ましい人間関係づくりの推進
- いじめ防止対策の推進
- 人権・同和教育の充実
- 学級づくりの充実

5　自治的・自発的な活動の推進
- 生徒会活動、学年生徒会活動、学級活動の充実

6　特別支援教育の充実
7　奉仕・体験活動の推進
- 無言清掃の徹底
- 奉仕活動の推進

8　交通安全指導の積極的推進
- ヘルメットの着用推進及び並進禁止の徹底

保健体育部
【自ら健康を保持・増進することができる能力の育成】

1　生命の尊重と健康・安全教育の推進
- 生活安全教育の積極的推進
- 防災教育の積極的推進（避難訓練の実施・充実）
- 健康診断結果による治療改善の推進（う歯、目等の治療）
- 薬物乱用防止教室の実施・充実

2　体力の向上
- 体力向上をめざす授業の充実
- 部活動の推進

3　食育の推進
- 食を大切にする給食指導
- 家庭と連携した規則正しい食生活の推進
- 弁当の日の推進

4　基本的生活習慣の定着
- １日の生活のリズムの確立（規則正しい生活、望ましい食生活）
- 早寝・早起き・朝ご飯の推進

生徒への愛情と教育への情熱を基軸とし、「凡事徹底」をめざし、「チーム唐瀬原中」を合言葉に、地域に開かれた学校づくりを推進します。

本校は、昭和２２年５月８日に創立した。創立当時の努力事項には、既に「学力向上」、「道義昂揚」、「勤労生産」、「自主自立」等を掲げており、以来６０有余年にわたり、知・徳・体の調和のとれた生徒の教育に取り組んできた。平成２８年度も、この伝統を引き継ぎながら、新たな視点で教育に邁進したい。

1　学力の向上
(1) 教育課程の確実な実施
(2) 教師の授業力向上
(3) 望ましい学習習慣の確立
(4) 個別指導等による基礎的・基本的内容の確実な定着
(5) 習熟度別少人数指導の充実
(6) 読書活動の推進

2　豊かな人間性や社会性の育成
(1) 基本的生活習慣（礼儀やマナー、適切な言動等）の徹底
（当たり前のことが、当たり前にできる生徒の育成）
(2) キャリア教育（進路指導）の計画的推進
(3) 望ましい人間関係づくりの推進
（いじめ防止対策の推進）
(4) 特別支援教育の充実
(5) 生徒会活動、学年生徒会、学級活動の充実

3　自ら健康を保持・増進することのできる能力の育成
(1) 安全教育の積極的推進
（交通安全指導、避難訓練実施等）
(2) 授業や部活動を通した体力向上
(3) 健康診断結果後の治療率のアップ
(4) 食育の推進（給食指導・弁当の日）

4　家庭や地域との連携による信頼される学校づくり
(1) 学校評価（学校関係者評価）を生かした学校経営の推進
(2) 積極的な情報発信と開かれた学校づくりの推進
(3) 小中連携の推進
(4) 地域との連携推進
(5) 職員のコンプライアンス意識向上

唐瀬原中学校　職員名簿

	職　名	氏　　名	学年及び担任等	教科	校　務　分　掌	
1	校　長	安藤三紀夫				
2	教　頭	根井　誠		理科	渉外　施設管理	
3	教　諭	福田　加恵	1－1担任	家庭	保健体育部	給食主任
4	教　諭	榎本　敬一	1－2担任	数学	学習指導部	進路指導主事
5	教　諭	加治屋慶史	1－3担任	国語	生徒指導部	生徒会担当
6	教　諭	下川奈緒子	希望学級1担任	英語	学習指導部	特別支援コーディネーター
7	教　諭	中武　詩子	1年副担　学年主任	国語	保健体育部	図書主任
8	講　師	塩治　広行	1年副担	英語	教務部	生徒指導支援加配
9	講　師	上渕　春香	1年副担	国語	保健体育部	読書活動加配
10	教　諭	郡　守	2－1担任	美術	学習指導部	研究主任
11	教　諭	西　隆行	2－2担任	数学	教務部	情報教育担当
12	教　諭	後藤三紗子	2－3担任	音楽	保健体育部	保体部長
13	教　諭	岡田富美子	2年副担　学年主任	国語	学習指導部	図書主任
14	教　諭	古屋　真一	2年副担	保体	生徒指導部	生徒指導主事
15	教　諭	小嶋　寛史	2年副担	社会	生徒指導部	環境美化担当
16	講　師	是澤　里佳	2年副担	英語	教務部	少人数指導
17	教　諭	植野　勝代	3－1担任	英語	学習指導部	進学主任
18	教　諭	德永　晃司	3－2担任	保体	保健体育部	体育主任
19	教　諭	鮫島　圭美	3－3担任	理科	教務部	理科主任
20	教　諭	清水　延幸	3年副担　学年主任	社会	教務部	社会科主任
21	教　諭	井上成二郎	3年副担	技術	教務部	教務主任
22	講　師	甲斐　涼太	3年副担	数学	生徒指導部	少人数指導
23	養護教諭	玉井　美保	3年所属		保健体育部	保健主事
24	事務主査	寺田　勝美			庶務一般	
25	町 職 員	橋口ひろみ			庶務会計	
26	PTA職員	井出久美子			PTA事務	
27	スクールカウンセラー	高野美智子			教育相談	

(内訳)

校長	教頭	教　諭		養護教諭	事務主査	計		講師	町職	P職	スクールカウンセラー	総計
		男	女									
1	1	9	7	1	1	20		4	1	1	1	27

平成２８年度　川南町立国光原中学校　学校経営ビジョン

〔経営の基調〕

本校は、宮崎県及び「川南町教育大綱」、「平成28年度ふるさと川南の教育」の基本方針に基づき、近隣学校や関係機関等と連携し、地域に根ざし、地域とともに歩む笑顔あふれる中学校の教育活動を行う。

また、川南町の素晴らしい伝統・文化や教育資源を生かして、ふるさと川南を愛し、未来を拓くために自ら学び、自ら行動する力などのこれからの社会を「人として」生き抜く力や確かな力をもった、社会に貢献する気概ある心豊かでたくましい生徒の育成を目指す。

学校の教育目標

ふるさと川南を愛し　自ら学び未来を拓く　心豊かでたくましい　生徒の育成

<めざす学校像>	<めざす生徒像>	<めざす教職員像>
・一人一人が存在感のある学校	・ふるさとを愛し、貢献することができる生徒	・生徒とともに学び続ける教職員
・学ぶ意欲のあふれる学校	・希望や信念をもち、その実現に努力する生徒	・生徒と夢を語り、確かな力をつける教職員
・先見性と活力のある学校	・心豊かで、しなやかさのあるたくましい生徒	・生徒の心をつかみ、気づき、動き、見届ける教職員
・地域とともに歩む学校	・知的好奇心にあふれ、学び続ける生徒	・生徒の手本となり、尊敬される教職員

〔自立〕　〔立志〕　〔感謝〕

Ⅰ 町民総ぐるみによる教育の推進
家庭、地域と連携し、信頼される学校づくり

1　学校、家庭、地域が一体となって取り組む教育の推進
- 授業や学校行事等における地域人財（材）との積極的な連携
- 学校間連携の推進
- 関係機関等との連携
- 学校関係者評価委員の助言を生かした教育の充実

2　家庭や地域の教育力の向上
- 参観日、ＰＴＡ活動の充実
- 魅力ある家庭教育学級の実施
- 学級懇談会、地区懇談会の充実

3　開かれた学校づくりの推進
- 積極的な情報（学校便り、ホームページ等）発信
- オープンスクールの実施
- 地域連携室の設置等、受入体制の充実

Ⅱ 生きる基盤を育む教育の推進
学びや豊かな心、健やかな体の基礎づくり

1　確かな学力を育む教育の推進
- 自主的に学び合い、支え合う授業づくりの確実な実践
- 学力向上のための取組の充実
- 「かわみなみの教育力」を活用した指導方法の見直し
- 読書活動の充実

2　豊かな心を育む教育の推進
- 自己実現を図る生徒指導の充実（いじめ防止基本方針に基づいた取組の充実）
- 道徳教育の充実

3　健やかな体を育む教育の推進
- 保健指導の充実と体力向上プランの推進
- 食育の推進
- 部活動の活性化

4　共生社会を目指す特別支援教育の推進
- 個に応じた特別支援教育の充実

5　人権が尊重される社会を目指す教育の推進
- 思いやりのある言葉遣いの励行と人権教育の推進

Ⅲ 自立した社会人、職業人を育む教育の推進
夢や希望の実現を支える環境づくり

1　ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進
- 川南の宝を活用したふるさと学習の推進
- 川南町歌、川南音頭等による町民意識の醸成

2　地域の課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進
- 地域活動への積極的な参加
- 小中合同活動の推進
- 生徒の主体的な活動を促す生徒会活動の充実

3　キャリア教育の推進
- 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進計画作成と実践
- 職場体験学習、奉仕体験活動の実施
- 地域人財（材）による職業講話の実施

Ⅳ 魅力ある教育を支える体制や環境の整備・充実
生徒をとりまく魅力的な人的・物的環境づくり

1　教職員の資質向上
- ＯＪＴの積極的な推進
- 指導力向上のための研修の充実
- コンプライアンス意識の高揚

2　学校における安全、安心の確保
- 自ら命を守る安全教育の推進
- 安全に配慮した施設・設備の管理
- 危機管理マニュアルの周知と緊急時の対応整備

3　学校の教育環境の整備、充実
- ＩＣＴ機器の積極的な活用と研修の実施
- 町教育課への確実な報告・連絡・相談

Ⅴ 生涯を通じて学び、挑戦できる社会づくりの推進
自ら学び、地域に貢献する生涯学習の基礎づくり

<めざす町民像>
- 夢や希望を抱き、生涯にわたって自己実現を目指す人
- ふるさと川南を愛し、地域や社会の発展に参画する人
- グローバルな視野をもって活動する人

川南町教育大綱（川南町教育振興基本計画）、平成28年度ふるさと川南の教育

ふるさと川南を愛し　未来を拓く　心豊かでたくましい　川南の人づくり

川南町立国光原中学校　職員名簿

職　名	氏　　名	担当教科等	分　掌　等
校　　長	小　嶋　雅　史		
教　　頭	小　野　浩　司	国　　語	総務
教　　諭	石　川　さえ子	国　　語	学習部長　図書主任
教　　諭	轟　木　美　岐	理　　科	生徒会
教　　諭	安　田　憲　明	社　　会	第１学年主任
教　　諭	田　中　　　攝	美　　術	学習部
教　　諭	山　﨑　　　彩	数　　学	研究主任
教　　諭	池　田　美　和	英　　語	第２学年主任
教　　諭	北　原　輝　隆	理科・特別支援	保健体育部長
教　　諭	中　原　伸　一	国　　語	教務主任　教務部長
講　　師	堂　山　侑　輝	数　　学	保健体育部
教　　諭	小　並　　　透	社　　会	進路指導主事　教務部
教　　諭	寺　田　憲　生	数　　学	進学主任
教　　諭	齊　田　美　鈴	英　　語	第３学年主任
教　　諭	赤　池　博　子	音楽・特別支援	特別支援教育コーディネーター
教　　諭	下　沖　洋　徳	保健体育	生徒指導主事　生徒指導部長
養護教諭	長　友　直　子	保健担当	保健主事　給食主任
事務主査	松　本　朋　子	学校事務	事務主任
図書館事務	桑　野　幸　枝	図書事務	事務職員
町 職 員	大矢根　裕　子	学校事務	
介 助 員	中　武　直　美	介　　助	
ＡＬＴ	ジェフリーゴードン	英　　語	
ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ	髙　野　美智子	教育相談	毎月２回来校

○　職員の構成

	校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	事務主査	町事務	図書館事務	介助員	合　計
男	1	1	6	1						9
女			7		1	1	1	1	1	１２
計	1	1	１３	1	1	1	1	1	1	２１

平成２８年度　川南町立小・中学校研究主題

	学　校　名	研　究　主　題	研究領域	備　　考
1	川南小学校	学ぶ喜びと楽しさを感じ、確かな学力を身に付ける児童の育成 ～　児童一人一人の確かな学力の向上を目指した指導方法の工夫・改善を通して　～	国語科 算数科	
2	通山小学校	夢や希望をもち、主体的に学習に取り組む児童の育成 ～　特別活動と各教科等とを関連付けた学習指導の工夫を通して　～	特別活動	
3	東小学校	自ら学び、考え、表現できる子どもの育成 ～　「分かる喜び」と「考える楽しさ」のある算数科学習の充実を通して　～	算数科	
4	多賀小学校	確かな学力を身に付けた児童の育成 ～ 算数科における授業の改善を通して ～	算数科	
5	山本小学校	自ら考え、主体的な態度で学習に取り組む児童の育成 ～　算数科を中心に、思考力・判断力・表現力を育てる授業を通して　～	算数科	
6	唐瀬原中学校	学習意欲にあふれ、自ら学ぶ生徒の育成	全領域	
7	国光原中学校	「自立」して生きる生徒の育成 ～　学び会う場と人とのふれあいをつなぐ実践を通して　～	授業及び生徒活動	

平成２８年度　川南町教育研究会の研究活動に関する基本計画書

平 成 ２ ８ 年 ４ 月 １ 日
川 南 町 教 育 委 員 会
川南町立小・中学校校長会

１　名　　称　　「川南町ニューフロンティア教育研究会」（ＮＦ教育研究会）

２　趣　　旨

川南町の教育基本方針には、生まれ育ったまち川南を愛し、「人との絆」を大切にしながら、人としての在り方生き方の基となる豊かな情操や寛容の心、道徳心や公共の精神といった「心の豊かさ」とともに、自らの資質や能力を磨き、夢や希望の実現に向けて挑戦し続ける「しなやかさ」や「たくましさ」をもった人材の育成が謳われており、また、学校教育においては、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育む教育の推進が目標として挙げられている。特に、本町においては、児童生徒の確かな学力の向上が重要な教育的課題のひとつであり、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力の育成を図る必要がある。

しかしながら、学校教育は、１校単独の学校の努力だけでは効果が上がるものではない。そこには、教育委員会を中心としながら、町内各小・中学校、関係諸機関、各種団体との連携強化が必要不可欠である。これまでも、川南町内の小・中学校が連携し、児童生徒の学力・心の教育、運動能力等さまざまな課題の解決に取り組んできたが、十分な成果を得るまでにはいたっていない。あらためて、各学校における教育課程の編成・実施・評価、日常の学習指導、教育環境の整備充実、教職員の資質向上、家庭や地域との連携等、さまざまな課題の解決が望まれるところである。

そこで、川南町の教育方針や学校教育の目標、学校教育をめぐる諸問題をふまえ、小・中学校の連携を強化し、各校の共通的問題の解決を図るために、「川南町ニューフロンティア教育研究会」の一層の充実を図り、川南町の学校教育の質的向上を目指すものである。

３　目　　的

川南町の教育方針及び学校教育目標に則り、各学校が特色ある教育課程の編成を目指すとともに、その計画的な実施によって、児童生徒の「学力向上、心の教育の充実、体育・スポーツの振興、文化活動の推進」、「教職員の資質向上」、「家庭や地域との連携」等を図り、川南町全体の教育の充実・振興に資する。

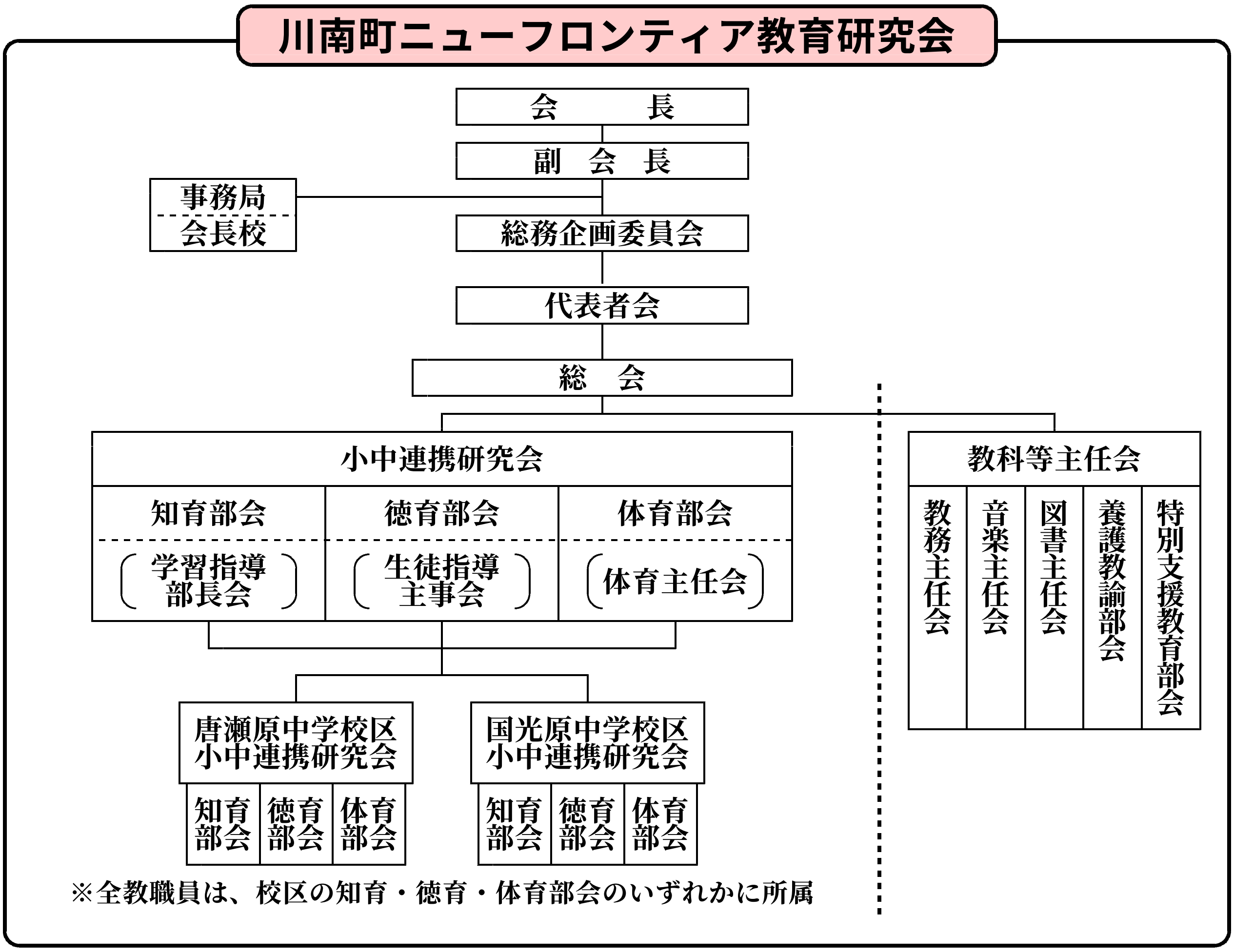
４　研究内容

(1) 各学校の教育課程の編成に関すること。
(2) 児童生徒の学力向上、心の教育の充実、体育・スポーツの推進に関すること。
(3) 児童生徒の文化活動の推進に関すること。
(4) 児童生徒の特別支援教育の推進に関すること。
(5) 教職員の資質向上に関すること。
(6) 家庭や地域との連携に関すること。

５　会の組織

(1) 総務企画委員会
(2) 代表者会
(3) 総会
(4) 小中連携研究会知育・徳育・体育部会
(5) 中学校区小中連携研究会
(6) 教科等主任会

6　組織図



7　委員会・部会等の構成（案）

委員会・部会等名	人員	構　　成　　員
総務企画委員会 ※定例校長会の際に開催	9	会　　長１名（町校長会副会長等） 副 会 長１名（町校長会会長） 各種委員会等会長５名（各校長） 顧　　問１名（町教育委員会教育長） 教育委員会担当１名（町教育委員会教育課教育対策監）
代表者会　（年２回）	３８	川南町各小・中学校代表・川南町教育委員会等
総会	全員	川南町各小・中学校教職員・川南町教育委員会等
知育部会（学習指導部長会）	各10	会長１名（校長） 副会長２名（教頭） 各学校各担当主任等
徳育部会（生徒指導主事会）		
体育部会（体育主任会）		
唐瀬原中学校区小中連携研究会		会　長：当番校長(唐瀬原中)(川南小→山本小→東小→唐瀬原中) 副会長：当番校以外の校長 全職員参加
国光原中学校区小中連携研究会		会　長：当番校長(国光原中)（通山小→多賀小→国光原中） 副会長：当番校以外の校長 全職員参加
教科等主任会（５主任会）	各８	会長１名（校長）・各学校担当代表

8　総務企画委員会

ＮＦ総務企画委員会
〈運営組織〉
　会長　副会長　委員（校長７名）
　顧問　教育長・教育対策監
〈会務〉
　１　計画・運営の検討
　２　年間の業務について企画・運営
　３　予算の配分
　４　計画書・報告書の取りまとめ
　５　予算書・決算書の取りまとめ
　６　報告書等の印刷・製本・配布
　７　教育文化講演会の企画

事務局
〈組織〉
　会長
　会長校の教頭(事務局長)、職員
〈会務〉
　１　計画の原案作成、製本、説明
　２　予算の管理・執行
　３　計画書・報告書の取りまとめ
　４　予算書・決算書の取りまとめ
　５　報告書等の印刷・製本・配布
　６　教育文化講演会の運営

9　教科等主任会・部会　担当会長等

教科等主任会	会　　長
教務主任会	毛利　純宗（東小校長）
音楽主任会	押川　典道(山本小校長)
図書主任会	坂本　幹夫(川南小校長)
養護教諭部会	原田　茂樹(通山小校長)
特別支援教育部会	平原　政博(多賀小校長)
総務企画委員会	押川　典道(山本小校長)

部　会	部会長・副部会長	
知育部会	小嶋　雅史（国光原中校長）	
	小野浩司(国光原中教頭)	青野秀靖(川南小教頭)
徳育部会	安藤三紀夫（唐瀬原中校長）	
	根井誠(唐瀬原中教頭)	丸山均(通山小教頭)
体育部会	平原　政博(多賀小校長)	
	能美廣介(多賀小教頭)	西村浩一郎(東小教頭)

※知･徳･体育部会には、教頭２名を副会長として配置(NF会長校教頭を除く)する。
　部会の実務は副会長が担当する。NF会長校教頭は、事務局長・会計を務める。

10　活動計画

時　期	内　容	備　考
４月　中旬	総務企画委員会 役割分担及び本年度の活動内容等の検討	（校長会）
５月　11日	第１回川南町ＮＦ教育研究会代表者 （小中連携研究会知・徳・体部会） 本年度の取組について	校長、教頭　計14名 知・徳・体部会担当主任 計21名　　総計35名
６月　上旬	活動計画・収支予算書作成、書類提出 教科等主任会、中学校区研究会、知･徳･体部会	
６月　下旬	補助金申請（総額47万円を予定）	補助金配布
６月～２月	各研究会における活動及び予算の執行	各中学校区別研究会(授業公開等) (10月頃に開催)
８月　22日	川南町ＮＦ教育研究会総会 ・小中連携知徳体部会 ・教育文化講演会	全教職員 川南町教育委員会
２月　上旬	活動報告・決算報告作成、書類提出 知･徳･体部会、中学校区研究会、教科等主任会	補助金執行残金の回収 実施報告書・決算書作成
２月　下旬	第２回川南町ＮＦ教育研究代表者会 ・小中連携知徳体研究部会報告 ・町教育論文表彰式・発表会	校長、教頭 知・徳・体部会担当主任 教科等主任会理事長
３月	活動の総括 次年度への課題の整理、改善点の検討	

川南町立川南小学校

創立　明治33年　住所　川南町大字川南13493番地1　電話　0983－27－0004

校長　坂本幹夫

教育目標　全力一心「自ら学び、心豊かに、やさしく、かしこく、たくましく生きる児童の育成」

児童数（人）

学年	人数
1年	77
2年	80
3年	71
4年	90
5年	78
6年	59
合計	455

全教職員数 36人
PTA戸数 325戸

町内一番の大規模です。子どもたち一人一人の想いや願いを大切にし、学校・家庭・地域が一体となった信頼される学校づくりに努めています。

特色ある教育活動

川南湿原での学習

あいさつ元気隊

体力向上週間

朝のボランティア

川南町立通山小学校

創立　明治2年　住所　川南町大字平田6383番地　電話　0983－27－0847

校長　原田茂樹

教育目標　心身ともにたくましく、自ら学び続ける力をもった児童を育成する

児童数（人）

学年	人数
1年	23
2年	33
3年	33
4年	37
5年	37
6年	41
合計	204

全教職員数 18人
PTA戸数 145戸

子どもたちの朝のあいさつ運動やボランティア活動も活発です。家庭・地域と力を合わせ、子どもたちの「頭・心・体」を鍛え、笑顔あふれる学校づくりに努めています。

特色ある教育活動

小中合同あいさつ運動

朝のさわやか運動

ふれあい活動（もちつき）

浜うどんづくり

川南町立東小学校

創立　昭和23年　住所　川南町大字川南21909番地1　電話　0983－27－0101

校長　毛利純宗

教育目標　すぐれた知性と豊かな心をもち 心身ともにたくましく実践力のある児童の育成

児童数（人）

学年	人数
1年	16
2年	19
3年	26
4年	22
5年	26
6年	16
合計	125

全教職員数 14人
PTA戸数　85戸

朝は、子どもたちの「おはようございます。今日も○○をがんばります。」などのあいさつたし算で始まり、地域の方々と一体になった学校づくりに努めています。

特色ある教育活動

あいさつリレー

百人一首暗唱

どろリンピック

朝のボランティア

川南町立多賀小学校

創立　明治41年　住所　川南町大字川南15113番地2　電話　0983－27－0234

校長　平原政博

教育目標　博愛と開拓の精神を基調として、豊かな心、確かな学力、たくましい体をそなえ、力強く生きる児童の育成

児童数（人）

学年	人数
1年	11
2年	19
3年	17
4年	15
5年	10
6年	20
合計	92

全教職員数 15人
PTA戸数　64戸

地域の方と作り上げる伝統ある「多賀ふれあいフェスタ」開催など、地域の文化拠点としての学校づくりに努めています。

特色ある教育活動

かんかん踊り

田植え

多賀ふれあいフェスタ

あいさつ運動

川南町立山本小学校

創立　昭和22年　住所　川南町大字川南17741番地　電話　0983－27－0814

校長　押川典道

教育目標　心身ともに健康で、自ら考え、進んで実践できる児童の育成

児童数（人）

1年	11
2年	9
3年	9
4年	4
5年	12
6年	9
合計	54

全教職員数 13人
PTA戸数　43戸

小規模校ならではのきめ細やかな子どもたちへの指導を通して、心豊かな人づくりとともに学力向上に努めています。

特色ある教育活動

学校の合い言葉斉唱

みどりの少年団活動

募金活動

朝のボランティア活動

川南町立唐瀬原中学校

創立　昭和22年　住所　川南町大字川南19664番地1　電話　0983－27－0044

校長　安藤三紀夫

教育目標　心豊かで　たくましく　意欲的に学ぶ　生徒の育成

生徒数（人）

1年	89
2年	99
3年	104
合計	292

全教職員数 26人
PTA戸数　242戸

生徒への愛情と教育への情熱を基軸とし、「凡事徹底」をめざし、「チーム唐瀬原中」を合言葉に、地域に開かれた学校づくりを推進します。

特色ある教育活動

あいさつ運動

職場体験活動

体育大会

文化祭

川南町立国光原中学校

創立　昭和22年　住所　川南町大字川南23566番地1　電話　0983－27－0046

校長　小嶋雅史

教育目標　ふるさと川南を愛し 自ら学び未来を拓く 心豊かでたくましい　生徒の育成

生徒数（人）

1年	68
2年	65
3年	58
合計	191

全教職員数 21人
PTA戸数　188戸

川南の素晴らしい伝統･文化や教育資源を生かして、ふるさと川南を愛し、未来を拓くために自ら学び、自ら行動する力やこれからの社会を「人として」生き抜く力、社会に貢献する気概のある心豊かでたくましい生徒の育成を目指します。

特色ある教育活動

あいさつ運動

生徒会活動

体育大会

文化祭

川南町教育委員会

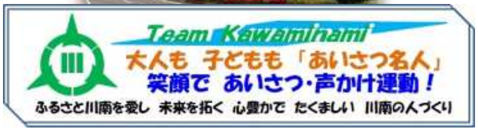
教育委員会組織

教　育　長	木村　　誠
職務代理者	内野宮　恵
教育委員	富山美津子
教育委員	小嶋久美子
教育委員	黒木　　実

教育委員会事務局

教育課

川南町教育委員会は、「ふるさと川南を愛し　未来を拓く　心豊かでたくましい　川南の人づくり」を目標に掲げ取り組んでいます。また、学校･家庭･地域が連携し、子どもたちに「生きる力」を育み、「生まれ育ったまち川南」を飛躍･発展させ、「あらたなまち川南」を創造していくことができる人材の育成と生涯にわたって学び続けることができる教育環境づくりを推進します。



学校教育に関する相談窓口

子どもに関する不登校やいじめ、問題行動、学習等、または、学校教育全般に関する相談は、各学校もしくは下記まで、ご連絡ください。

教育課　電話　27－8019
FAX　27－1028

川南町歌

一　日向灘　踊る朝日の
かがやく　光に立ちて
いま拓く　みどりの山河
はつらつと　生命は萌ゆる
あゝ川南　伸びゆくところ

二　尾鈴山　つらなるみなみ
陽はみちて　幸は豊に
いざ建てん　わが町ここに
清心の　産業息吹く
あゝ川南　興さん共に

三　わきあがる　時代の生気
海山に　ちまたにあふれ
見よ咲かす　文化の花に
躍進の　人の和固し
あゝ川南　栄えよ永遠に

Team Kawaminami

大人も　子どもも　「あいさつ名人」

笑顔で　あいさつ･声かけ運動！

ふるさと川南を愛し　未来を拓く　心豊かで　たくましい　川南の人づくり